



2026年度
名城大学大学院

入学試験要項

MEIJO UNIVERSITY

名城大学大学院組織

修士（博士前期）課程

法学研究科	—	法学専攻
経営学研究科	—	経営学専攻
経済学研究科	—	経済学専攻
人間学研究科	—	人間学専攻
都市情報学研究科	—	都市情報学専攻

5月初旬以降にお知らせします。

理工学研究科	—	数学専攻
	—	電気電子工学専攻
	—	材料機能工学専攻
	—	応用化学専攻
	—	機械工学専攻
	—	交通機械工学専攻
	—	メカトロニクス工学専攻
	—	社会基盤デザイン工学専攻
	—	環境創造工学専攻
	—	建築学専攻
農学研究科	—	農学専攻
総合学術研究科	—	総合学術専攻

博士（博士後期）課程

法学研究科	—	法学専攻
経営学研究科	—	経営学専攻
経済学研究科	—	経済学専攻
都市情報学研究科	—	都市情報学専攻
理工学研究科	—	数学専攻
	—	電気・情報・材料・物質工学専攻
	—	機械工学専攻
	—	社会環境デザイン工学専攻
農学研究科	—	農学専攻
総合学術研究科	—	総合学術専攻

博士課程

薬学研究科	—	薬学専攻〔4年制〕
-------	---	-----------

目次

名城大学大学院の3つのポリシー	1
募集定員	1
令和8年度(2026年度)大学院入学試験	
令和7年度(2025年度)大学院秋季入学試験 日程一覧	2
共通事項	7
受験時の注意	8
身体に障がいのある志願者の方へ	8
インターネット出願サイトへの登録	9
入学試験検定料のお支払い／出願書類の送付	10
出願書類の処理状況の確認／受験票について	11
合格発表について	12
入学手続について	13
学費	14
「長期履修学生制度」について《社会人対象》	16
奨学生制度	19
法学研究科	20
修士課程	21
博士後期課程	24
経営学研究科	27
修士課程	28
博士後期課程	32
経済学研究科	35
修士課程	36
博士後期課程	40
人間学研究科	43
修士課程	44
都市情報学研究科	48
修士課程	49
博士後期課程	53
5月初旬にお知らせします。	56
理工学研究科	58
修士(博士前期)課程	64
博士後期課程	66
農学研究科	73
修士課程	78
博士後期課程	79
薬学研究科	83
博士課程【4年制】	87
総合学術研究科	88
博士前期課程	92
博士後期課程	93
綴込用紙	97
志願票様式	
志願資格確認申請書類様式	
長期履修学生制度申請書	

名城大学大学院の3つのポリシー

名城大学大学院及び各研究科において3つのポリシー（学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）、教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー：CP）、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー：AP））を策定しています。

詳細は右のQRコードからご確認ください。



募 集 人 員

研 究 科	専 攻	課 程	募 集 人 員
法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	修 士 課 程	6名
		博 士 後 期 課 程	2名
経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	修 士 課 程	10名
		博 士 後 期 課 程	3名
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	修 士 課 程	3名
		博 士 後 期 課 程	2名
人 間 学 研 究 科	人 間 学 専 攻	修 士 課 程	5名
都 市 情 報 学 研 究 科	都 市 情 報 学 専 攻	修 士 課 程	6名
		博 士 後 期 課 程	3名
5 月初旬以降にお知らせします。			
理 工 学 研 究 科	数 学 専 攻	修 士 課 程	8名
	電 気 電 子 工 学 専 攻		25名
	材 料 機 能 工 学 専 攻		35名
	応 用 化 学 専 攻		24名
	機 械 工 学 専 攻		30名
	交 通 機 械 工 学 専 攻		25名
	メカトロニクス工学専攻		24名
	社会基盤デザイン工学専攻		18名
	環 境 創 造 工 学 専 攻		8名
	建 築 学 専 攻		16名
	数 学 専 攻	博 士 後 期 課 程	2名
	電気・情報・材料・物質工学専攻		10名
	機 械 工 学 専 攻		5名
	社会環境デザイン工学専攻		5名
農 学 研 究 科	農 学 専 攻	修 士 課 程	30名
		博 士 後 期 課 程	3名
薬 学 研 究 科	薬 学 専 攻	博 士 課 程	4名
総 合 学 術 研 究 科	総 合 学 術 専 攻	修 士 課 程	8名
		博 士 後 期 課 程	4名

※募集人員は推薦入学試験・一般入学試験を通しての合計数です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

令和8年度（2026年度）大学院入学試験 令和7年度（2025年度）大学院秋季入学試験 日程一覧

■2025年7月5日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研究科	課程	試験区分	
法学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉一次
経営学研究科	博士後期課程	推薦	〈学内特別選考〉【2025年度秋季入学】
経済学研究科	修士課程	推薦	〈特別選考〉一次
都市情報学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉一次
5月初旬以降にお知らせします。			
理工学研究科	修士・博士前期課程	推薦	
		一般	一次
		外国人	一次
	博士・博士後期課程	一般	一次
農学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉
		外国人	【2025年度秋季入学】
	博士後期課程	外国人	【2025年度秋季入学】
薬学研究科	博士課程	推薦	一次
総合学術研究科	博士前期課程	推薦	〈学内〉一次
			〈他大学〉一次
		一般	【2025年度秋季入学】
		外国人	【2025年度秋季入学】
	博士後期課程	推薦	〈学内〉一次
			〈他大学〉一次
		一般	【2025年度秋季入学】
		外国人	【2025年度秋季入学】
		社会人	【2025年度秋季入学】

手続き・試験		期 間
出願資格確認（必着）		2025年4月 1日（火） ～ 4月 8日（火）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）		5月16日（金） ～ 5月26日（月）
受験票発行予定日		7月 2日（水） 10:00 ～
入学試験日		7月 5日（土）
入学試験予備日		7月 6日（日）
合格発表日		7月25日（金） 10:00 ～
一括手続締切日（必着）		12月 4日（木）
分割手続締切日	第一次手続（納入）	12月 4日（木）
	最終手続（必着）	2026年 3月12日（木）

※【2025年度秋季入学のスケジュール】

手続き・試験	期 間
出願資格確認（必着） ※総合学術研究科以外	2025年4月 1日（火） ～ 4月 8日（火）
出願資格確認（必着） ※総合学術研究科のみ	5月13日（火） ～ 5月20日（火）
入学検定料支払（納入）・出願（必着） ※総合学術研究科以外	5月16日（金） ～ 5月26日（月）
入学検定料支払（納入）・出願（必着） ※総合学術研究科のみ	6月 9日（月） ～ 6月16日（月）
受験票発行予定日	7月 2日（水） 10:00 ～
入学試験日	7月 5日（土）
入学試験予備日	7月 6日（日）
合格発表日	7月25日（金） 10:00 ～
一括手続締切日（必着）	8月 5日（火）

※設置構想中の情報理工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

■2025年 9 月27日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研 究 科	課 程	試 験 区 分		
法学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉二次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
経営学研究科	修士課程	推薦	学部・大学院5年修了プログラム 〈学内特別選考〉一次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
経済学研究科	修士課程	一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
人間学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉一次 〈他大学〉一次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
都市情報学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉二次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
	博士後期課程	推薦	〈学内〉一次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
5 月初旬以降にお知らせします。				
農学研究科	修士課程	一般	一次	
		外国人	一次	
薬学研究科	博士課程	推薦	二次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
総合学術研究科	博士前期課程	推薦	〈学内〉二次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	
	博士後期課程	推薦	〈学内〉二次	
		一般	一次	
		外国人	一次	
		社会人	一次	

手続き・試験		期 間
出願資格確認（必着）		2025年 7月 1日（火） ～ 7月 8日（火）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）		8月29日（金） ～ 9月 8日（月）
受験票発行予定日		9月24日（水） 10:00 ～
入学試験日		9月27日（土）
入学試験予備日		9月28日（日）
合格発表日		10月10日（金） 10:00 ～
一括手続締切日（必着）		12月 4日（木）
分割手続締切日	第一次手続（納入）	12月 4日（木）
	最終手続（必着）	2026年 3月12日（木）

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

■2026年1月10日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研 究 科	課 程	試 験 区 分	
経営学研究科	修士課程	推薦	〈学内特別選考〉 二次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次 〈特別選考〉
		飛び級制度	
	博士後期課程	推薦	〈学内特別選考〉
		一般	
		外国人	
		社会人	
経済学研究科	修士課程	推薦	〈特別選考〉 二次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次
	博士後期課程	一般	
		外国人	
		社会人	
5 月初旬以降にお知らせします。			
理工学研究科	修士・博士前期課程	一般	二次
		外国人	二次
		社会人	
	博士・博士後期課程	一般	二次
		外国人	
		社会人	
農学研究科	修士課程	一般	二次
		外国人	二次
		社会人	
	博士後期課程	推薦	〈学内〉
		一般	
		外国人	
		社会人	

手 続 き ・ 試 験	期 間
出願資格確認（必着）	2025年10月 1日（水） ～ 10月 8日（水）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）	11月14日（金） ～ 11月24日（月）
受験票発行予定日	2026年 1月 7日（水） 10:00 ～
入学試験日	1月10日（土）
入学試験予備日	1月11日（日）
合格発表日	1月30日（金） 10:00 ～
一括手続締切日（必着）	3月12日（木）

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

■2025年1月24日(土)実施入学試験の対象試験・スケジュール

研 究 科	課 程	試 験 区 分	
法学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉三次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	
	博士後期課程	一般	
		外国人	
		社会人	
人間学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉二次 〈他大学〉二次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次
都市情報学研究科	修士課程	推薦	〈学内〉三次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次
	博士後期課程	推薦	〈学内〉二次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次
薬学研究科	博士課程	一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次

手続き・試験	期 間
出願資格確認(必着)※外国人	2025年11月28日(金) ～ 12月 5日(金)
出願資格確認(必着)※社会人	11月28日(金) ～ 12月11日(木)
入学検定料支払(納入)・出願(必着)	12月26日(金) ～ 2026年 1月 7日(水)
受験票発行予定日	1月21日(水) 10:00 ～
入学試験日	1月24日(土)
入学試験予備日	1月25日(日)
合格発表日	2月20日(金) 10:00 ～
一括手続締切日(必着)	3月12日(木)

■2025年2月14日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研 究 科	課 程	試 験 区 分	
総合学術研究科	博士前期課程	推薦	〈学内〉三次
			〈他大学〉二次
		一般	二次
		外国人	二次
	博士後期課程	社会人	二次
		推薦	〈他大学〉二次
		一般	二次
		外国人	二次
		社会人	二次

手続き・試験	期 間
出願資格確認（必着）※外国人	2025年11月28日（金） ～ 12月 5日（金）
出願資格確認（必着）※社会人	11月28日（金） ～ 12月11日（木）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）	2026年 1月24日（土） ～ 2月 3日（火）
受験票発行予定日	2月11日（水） 10:00 ～
入学試験日	2月14日（土）
入学試験予備日	2月15日（日）
合格発表日	2月20日（金） 10:00 ～
一括手続締切日（必着）	3月12日（木）

■その他の入学試験のスケジュール

研 究 科	課 程	試 験 区 分	
経営学研究科	修士課程	推薦	海外指定校一次 【2026年度秋季入学】
			海外指定校二次 【2026年度秋季入学】

手続き・試験		期 間
一次	出願（必着）	2025年 9月 1日（月） ～ 9月22日（月）
	合格発表日	10月31日（金） 10:00 ～
	一括手続締切日（必着）	12月 4日（木）
二次	出願（必着）	2026年 3月 1日（日） ～ 3月23日（月）
	合格発表日	4月28日（火） 10:00 ～
	一括手続締切日（必着）	8月 5日（水）

※台風などにより試験日に試験が実施できない場合、予備日に試験を行います。試験日に試験ができない場合は、試験当日の8時までに本学ホームページにてその旨を発表します。

共通事項

1 出願資格確認

出願を希望される方で、一部の試験区分を受験する場合や海外の大学・大学院を卒業（見込）の場合は、出願の前に出願資格確認が必要です。詳細は各研究科のページで「出願資格の確認手続」をご確認ください。

この手続きに費用はかかりませんが、出願資格確認書類を入試情報サイト「Meijo Navi」内の「大学院入試（<https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/examination/graduate/>）」から印刷して「簡易書留（速達）」でご提出いただく必要があります。

2 入学検定料の支払い及び出願書類の提出

入学検定料35,000円はインターネット出願サイトに登録の上、お支払いいただく必要があります。

また、出願書類を入試情報サイト「Meijo Navi」内の「大学院入試（<https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/examination/graduate/>）」から印刷して「簡易書留（速達）」でご提出いただく必要があります。

どちらも期間内（書類提出は締切日必着）に完了しない場合、出願とはみなされません。詳細は9,10ページをご確認ください。

※入学検定料を返還できるのは、検定料を払い込んだが出願書類を提出（郵送）しなかった場合、または誤って検定料を多く払い込みすぎた場合のみです。出願書類提出後、受験を取りやめる、または当日欠席した場合は対象となりません。

返還手続き締切日：2026年3月末日

問い合わせ先：名城大学入学センター（TEL（052）838-2018（ダイヤルイン））

※出願書類に不備がある場合は受け付けません。また受け付けた書類は返還しません。

3 受験票

受験票は、試験日の3日前よりUCAROに表示されます。

確認方法については11ページの「受験ポータルサイト「UCARO」受験票」をご覧ください。UCAROからダウンロードして印刷し、試験日に持参してください。

4 試験会場

入学試験の会場は出願先の研究科によって異なり、以下の会場で行います。

天白キャンパス：法学、経営学、経済学、（※月曜日のみ）理工学、農学、総合学術

八事キャンパス：薬学

ナゴヤドーム前キャンパス：人間学、都市情報学

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

5 合格発表

（1）受験ポータルサイト「UCARO」にて、合格発表日の10:00から合否結果を発表します。確認方法については12ページの「受験ポータルサイト「UCARO」合否照会・入学手続」をご覧ください。

（2）合格発表に関する電話等の問い合わせには、一切応じません。

6 入学手続

1. 入学手続

入学手続とは、入学金・授業料等を納入し、入学手続書類を提出することです。

期限までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。

また、一旦納入された入学金および手続書類は、理由を問わず返還しません。

2. 入学手続金

入学手続金とは、「入学金」と「1年次の授業料等（授業料、実験実習費、施設費）の前期分」を合計した額です。納入された「入学金」は理由を問わず返還しません。

入学年度の前期（4月から9月）に休学または退学する場合、入学手続時に納入済みの前期分授業料等（授業料、実験実習費、施設費）は本学規定により返還しません。

※本学卒業生が大学院に入学する場合、特別奨学金として入学金が返還される制度があります。（詳細は19ページを参照してください。）

7 個人情報の取り扱いについて

出願及び入学手続にあたって提出いただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、④関連団体から合格者へ保険や情報機器等の紹介に関する案内送付、ならびにこれらに付随する事項を行うためにのみ利用します。

8 成績開示について

本学では、入学試験において、本人から希望があった場合に限り成績開示を行います。本人確認は受験票（原本）を添付していただきますので、大切に保管してください。なお、成績開示請求方法・内容については、「Meijo Navi」内の「大学院入学試験に係る個人情報の開示について（<https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/examination/graduate/privacy/>）」に掲載していきます。

（注）秋季入学については、今年度は開示を行いません。

9 安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法（外為法）」を遵守するため、「名城大学安全保障輸出管理規程」等を定め、大学に所属する全ての構成員に対して厳格な審査を実施しています。外為法の規制事項に該当する場合は、入学した後においても、希望する教育や研究指導が受けられない場合がありますので、注意してください。

《経済産業省ウェブサイト》<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

10 その他

定員を満たさない場合は、追加募集を実施する場合があります。実施する場合は、ホームページに掲載します。

11 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151（代）
〔事務取扱時間〕
平日 AM 8:50 ～ PM 5:20
※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

受験時の注意

- （１）遅刻は原則認めません。
- （２）試験室では、受験票を毎時限、机上に貼付してある受験番号の手前に置いてください。
- （３）携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。
- （４）試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。
- （５）監督者の指示に従わない場合は、不正行為とすることがあります。

その他の不正行為に該当する行為等の詳細は HP（<http://www.meijo-u.ac.jp/admissions/examination/attention/knowledge.html>）をご確認ください。

障がい等のある志願者の方へ

障がい等のある方が受験上の配慮を希望する場合は、入学センターまで問い合わせてください。

インターネット出願サイトへの登録

▶「UCARO」の会員登録

出願にはUCAROへの会員登録(無料)が必須です。UCAROに会員登録することで、UCARO上で出願状況の確認や受験票のダウンロード、合否照会、入学手続き申込用紙のダウンロードを行うことができます。
パソコンまたはスマートフォン等からアクセスし、新規会員登録のページから会員登録を行ってください。

①UCAROにアクセス



<https://www.ucaro.net/>



②新規会員登録ページからメールアドレスを登録



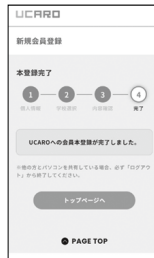
③メールに記載されたURLから会員情報を登録



④お気に入りの学校の選択で「名城大学」を選択



⑤本登録完了



必ず受験者の
情報を登録!

※画面はイメージであり、変更になる場合があります。画面の指示に従って会員登録をしてください。

▶ インターネット出願サイトにて出願登録をする

(イメージ画面)

①インターネット出願サイトへのアクセス

出願期間内にUCAROにログインし、学校をさがす・出願する(学校一覧)メニューより「名城大学」をクリックし、遷移後の画面で「出願する」ボタンをクリックしてください。

②入試方式の選択

最初にインターネット出願サイトのトップ画面「出願の流れ」をよく読み、出願する入試方式の「出願する」をクリックしてください。

③志望情報の登録

画面に沿って、出願する入試方式、研究科等を選択します。入学試験検定料の支払期限を過ぎた場合、出願は無効となりますので注意してください。

④個人情報の入力

画面に沿って、個人情報を入力・登録します。UCAROのアカウント情報が反映されますので、修正する場合は入力し直してください。

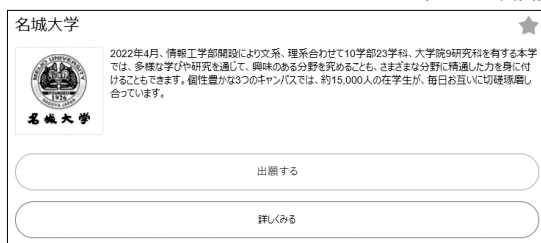
⑤顔写真データのアップロード

顔写真データを準備し、画面の案内に従ってアップロードしてください。
※顔写真データは画面上でサイズ調整が可能です。画面の指示に従って調整してください。
※写真が不鮮明、サイズが小さいなど、出願の写真として適さない場合は、再提出を求めることがあります。期間内に再提出をしない場合、出願が受け付けられませんので注意してください。

⑥出願内容の確認

入力した志望情報・個人情報の最終確認ができます。入金完了前であれば修正が可能です。修正する場合は「変更」をクリックして修正してください。

※画面上の「入学志願票を印刷する」「宛名ラベルを印刷する」ボタン
出願登録完了画面に上記ボタンが設置されていますが、大学院入学試験では使用しません。
出願書類・宛名ラベルは入試情報サイト「Meijo Navi」よりダウンロードし、印刷してください。詳細は次のページをご参照ください。



③注意事項

・入学試験検定料支払後は、入試方式・研究科等はシステム上で修正することができません。

④注意事項

・入学試験検定料支払後は、個人情報はシステム上で修正することができません。
・JIS第1・第2水準以外の文字(例：高、崎)は入力できません。代替文字を入力してください。

⑤注意事項

・ファイル形式：JPEGのみ(推奨サイズ：縦640ピクセル×横480ピクセル、拡張子.jpeg/.jpg)
・本人のみが写っているカラー写真であること。(背景は白または薄い色(カーテン・木目調は不可))
・私服であること(入学後の学生証用写真として使用します。)
・3か月以内に撮影されていること。
・上半身無帽で、頭部全体が写っており、正面を向いた本人の顔がはっきりと確認できること。

【出願登録完了画面】

(イメージ画面)



操作方法について不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

UCARO操作(出願登録～入学手続)に関するお問い合わせ 03-6634-6494

4月1日～4月10日：10:00～18:00

4月11日～8月31日：10:00～13:00、14:00～18:00(土日祝日：休業)

9月1日～3月31日：10:00～18:00(12月30日～1月3日：休業)

入学試験検定料のお支払い／出願書類の送付

一度ログアウトした場合は再度UCAROにログインし、学校をさがす「出願する(学校一覧)メニューより「名城大学」をクリックし、遷移後の画面で「出願する」へ進んでください。

▶ 入学試験検定料35,000円の支払方法の選択

入学試験検定料はコンビニエンスストア「セブン・イレブン」「デイリーヤマザキ」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」「セイコーマート」、クレジットカード、ネットバンキング、Pay-easyで24時間いつでも払い込みが可能です。入学試験検定料の支払毎に、払込手数料1,650円がかかります。

コンビニエンスストア				
現金での支払いとなります。1回の出願につき30万円以上の支払いはできません。 (支払手順)				
セブン-イレブン 	ローソン ミニストップ (Loppi) 	ファミリーマート (マルチコピー機) 	セイコーマート 	デイリーヤマザキ 
レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えお支払いください。 ※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみでOKです。 マルチコピー機は使用しません。	各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付・スマートビットのお支払い 各種代金お支払い マルチペイメントサービス 「お客様番号」を入力 「確認番号」を入力		レジで店員に「インターネットの支払い」と伝える	レジで店員に「オンライン決済」と伝える
	代金支払い (コンビニでお支払い) 番号入力画面に進む 「お客様番号」を入力 「確認番号」を入力 同意して利用する		「オンライン決済番号」を入力	
	出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内にレジにて入学試験検定料を現金にて支払う		レジにて入学試験検定料を現金にて支払う	
金融機関ATM【Pay-easy】		ネットバンキング		クレジットカード
		   		    
Pay-easy対応のATMで支払うことができます。支払い可能金融機関は下記を確認してください。 ・「ATM利用可能一覧」 https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html ・1回の出願につき、現金で10万円未満、キャッシュカードでは100万円未満の支払いが可能です。		各金融機関のネットバンキングを利用することができます。 ・事前に金融機関にてネットバンキング利用の申し込みや口座開設が必要です。		上記のロゴマークがあるクレジットカードで支払うことができます。 ・本人確認のため、クレジットカード記載情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。利用限度額を確認した上で利用してください。

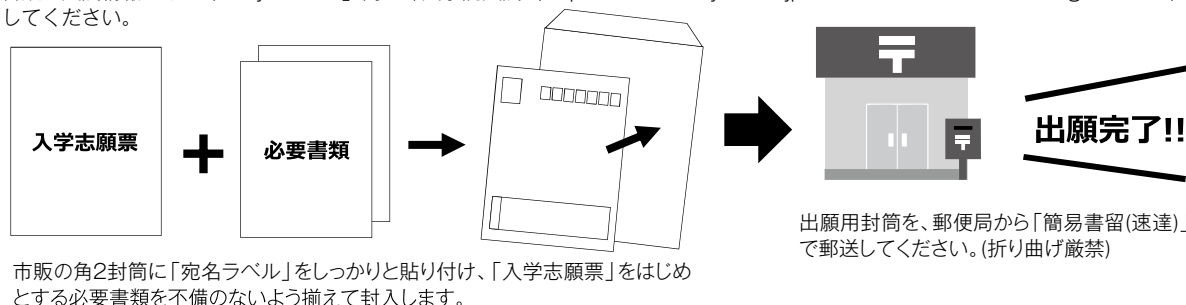
▶ 注意事項

- ・出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- ・一度お支払いされた入学試験検定料は、店頭やATMでは一切返金できませんのでご注意ください。
- ・クレジットカード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- ・「入学試験検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニエンスストア店頭ではお答えできません。
- ・コンビニエンスストアや金融機関のATM端末操作方法是変更になる場合があります。

入学試験検定料のお支払い時に受け取られた領収書(明細書)は提出不要です。試験終了まで大切に保管してください。入金情報はデータで確認させていただきます。

▶ 出願書類の郵送

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けられません。必要書類は入試情報サイト「Meijo Navi」内の「大学院入試 (<https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/examination/graduate/>)」から印刷してください。



出願書類の処理状況の確認／受験票について

▶ 出願書類の到着・処理状況について

出願書類の処理状況はUCAROの受験一覧で確認することができます。ご自身でUCAROの受験一覧から確認してください。

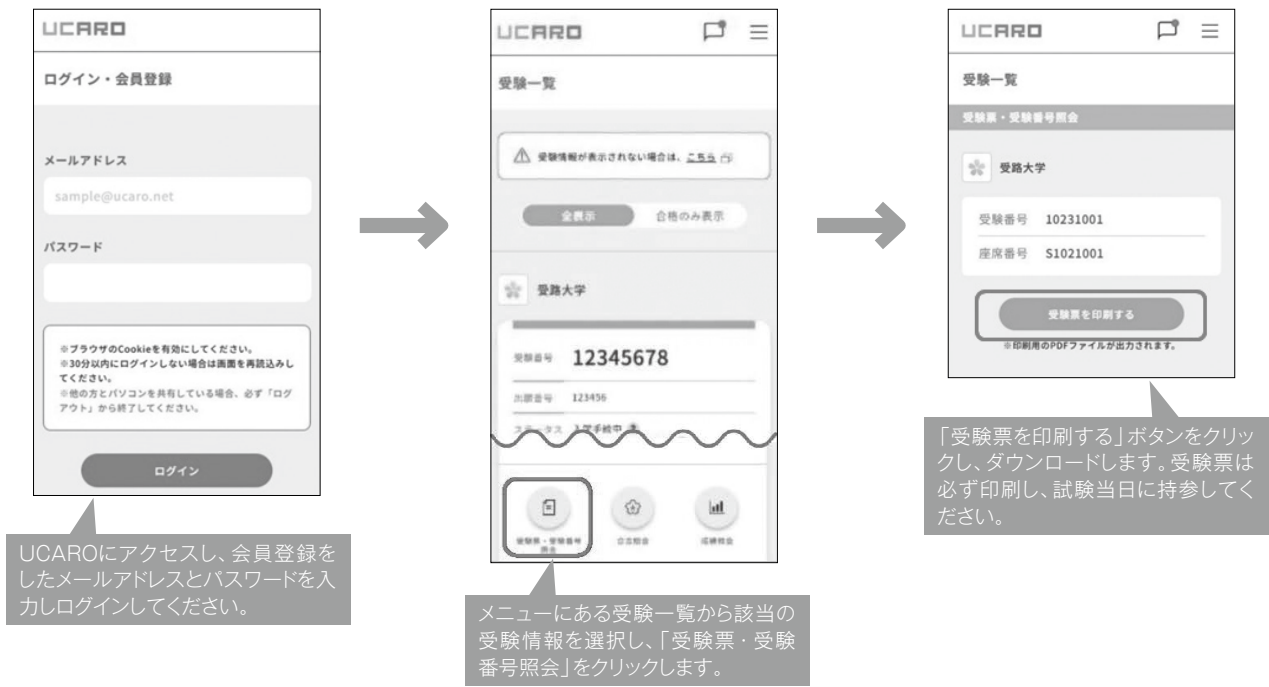
UCAROステータス	処理状況
出願登録済(検定料未入金)	インターネット出願登録の完了 ※インターネット出願登録完了時にメールが自動配信されます。
出願登録済(検定料入金済)	入学試験検定料の入金完了 ※入学試験検定料の入金完了時にメールが自動配信されます。
出願書類受理	出願書類の受付完了 ※メールやUCAROメッセージによる通知は行いません。 ※UCAROのステータスの更新まで数日かかります。書類の到着は郵便追跡サービスにて確認してください。 ※検定料未入金の場合や顔写真データに不備がある場合は、このステータスは表示されません。
受験番号確定	UCAROの「受験一覧」より受験票が発行できます。 受験票発行予定日を確認し、印刷してください。

▶ 受験番号照会・受験票印刷について

受験票は、大学から送付はいたしません。試験日3日前よりUCAROからダウンロードして印刷し、試験日に持参してください。
なお、個人情報に変更が生じた場合は入学センターへ連絡してください。

【UCAROによる受験票のダウンロード方法】

※ 画面はイメージであり、変更になる場合があります。



操作方法について不明な点がございましたら下記までご連絡ください。
UCARO操作（出願登録～入学手続）に関するお問い合わせ 03-6634-6494
4月1日～4月10日：10:00～18:00
4月11日～8月31日：10:00～13:00、14:00～18:00（土日祝日：休業）
9月1日～3月31日：10:00～18:00（12月30日～1月3日：休業）

合格発表について

▶ 合格発表

合否結果は、合格発表日当日10:00から、UCAROで発表します。

合格した場合、合格通知書・入学手続き金振込用紙・入学手続きに関する資料等はUCAROの合否照会画面よりダウンロード・印刷してください。

注意事項

- ・本学への電話やメール等による合否の問い合わせには、一切応じません。
- ・合否に関する書類の送付は行いません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
- ・UCAROでの「誤操作」「見間違い」「確認もれ」等を理由とした入学手続き締切日を過ぎての入学手続きは認めません。

【UCAROによる合否の確認方法】

※ 画面はイメージであり、変更になる場合があります。



UCARO

ログイン・会員登録

メールアドレス

sample@ucaro.net

パスワード

※ブラウザのCookieを有効にしてください。
※30分以内にログインしない場合は画面を再読み込みしてください。
※他の方とパソコンを共有している場合、必ず「ログアウト」から終了してください。

ログイン

UCAROにアクセスし、会員登録をしたID(メールアドレス)とパスワードを入力しログインしてください。



UCARO

受験一覧

受験情報が表示されない場合は、こちらへ

全表示 合格のみ表示

受験大学

受験番号 12345678

受験票 合格照会 成績開示

メニューにある受験一覧から該当の受験情報を選択し、「合否照会」をクリックします。



UCARO

受験一覧

合否照会

受験大学

受験番号 10231001

受験内容
総合型選抜 工学部 知能エレクトロニクス学科
〇〇専攻 〇〇コース 本学定時キャンパス

Congratulations!

合格

おめでとうございます!

合格通知書を印刷する

※印刷用のPDFファイルが出力されます。

振込用紙を印刷する

※印刷用のPDFファイルが出力されます。

合格者は添付のPDFを必ず確認してください。振込用紙は同画面下のボタンから印刷してください。

入学手続について

▶ 入学手続

入学手続は、「入学金・授業料等の納入」および「入学者情報の登録、入学手続書類の提出」によって完了します。

▶ 入学手続方法（概要）

入学手続は、一括手続と分割手続のいずれかを選択できます。

入学手続の詳細は、UCARO合否照会画面の「入学手続要項」「UCARO操作マニュアル」をダウンロードしてご確認ください。

UCAROでの「誤操作」「見間違い」「確認もれ」等を理由とした入学手続締切日を過ぎての入学手続は認めません。

（1）一括手続

①UCARO合否照会画面より振込用紙をダウンロードし、入学手続金（入学金・授業料等）を納入。

②UCAROで入学手続に必要な入学者情報を登録。

③入学手続書類を郵送。

①～③の納入・登録・提出期日：一次手続締切日**必着**

（2）分割手続

①UCARO合否照会画面より振込用紙をダウンロードし、入学手続金（入学金のみ）を納入。

①の納入期日：一次手続締切日

②UCARO合否照会画面より振込用紙をダウンロードし、入学手続金（授業料等）を納入。

③UCAROで入学手続に必要な入学者情報を登録。

④入学手続書類を郵送。

②～④の納入・登録・提出期日：最終手続締切日**必着**

▶ 入学手続についての注意事項

・期限までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。

分割手続の場合、一次手続締切日までに入学金を納入していない方は、入学資格を失います。

・一旦納入された入学金・手続書類は、理由を問わず返還しません。

・入学年度の前期（4月～9月）に休学または退学する場合、入学手続時に納入済みの前期分授業料等（授業料、実験実習費、施設費）は本学規定により返還しません。

▶ 入学辞退（専願の入試方法・研究科等は除く）

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、2026年3月31日（火）16：00までに所定の手続きを行うことにより、すでに納入された入学手続金（入学金を除く）を返還します。なお、返還時の振込手数料は、受取人（返還申請者）負担となります。詳細は入学手続要項をご確認ください。

学

費

■修士（博士前期）課程

〔予定〕2026年度入学者学費一覧表

（単位：円）

学年	納入期限	学 費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科	人間学研究科	都市情報学 研究科	5月初旬以降にお知らせします。 理工学研究科	農学研究科	総合学術研究科
1 年 次	入学 手続時	入学 手続締切日	入 学 金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授 業 料	265,000	290,000	345,000	320,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	——	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	435,000	460,000	525,000	560,000	530,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000	290,000	345,000	320,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	——	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	330,000	395,000	430,000	400,000
	年 額 合 計			740,000	790,000	920,000	990,000	930,000
2 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	265,000	290,000	345,000	320,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	——	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	330,000	395,000	430,000	400,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000	290,000	345,000	320,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	——	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	330,000	395,000	430,000	400,000
	年 額 合 計			610,000	660,000	790,000	860,000	800,000
	2 年 間 合 計			1,350,000	1,450,000	1,710,000	1,850,000	1,730,000

■博士後期課程

〔予定〕2026年度入学者学費一覧表

（単位：円）

学年	納入期限	学 費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科	都市情報学 研究科	理工学研究科	農学研究科	薬学研究科	総合学術研究科
1 年 次	入学 手続時	入学 手続締切日	入 学 金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授 業 料	265,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	60,000	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	435,000	525,000	560,000	550,000	530,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	60,000	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	395,000	430,000	420,000	400,000
	年 額 合 計			740,000	920,000	990,000	970,000	930,000
2 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	265,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	60,000	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	395,000	430,000	420,000	400,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実 験 実 習 費	——	——	60,000	60,000	60,000
			施 設 費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	395,000	430,000	420,000	400,000
	年 額 合 計			610,000	790,000	860,000	840,000	800,000

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

学年	納入期限		学 費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科	都市情報学 研究科	理工学研究科	農学研究科	薬学研究科	総合学術研究科
3 年 次	前 期	5月10日	授 業 料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実 験 実 習 費	――	――	60,000	60,000	60,000	――
			施 設 費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	後 期	10月10日	授 業 料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実 験 実 習 費	――	――	60,000	60,000	60,000	――
			施 設 費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小 計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	年 額 合 計			610,000	790,000	860,000	840,000	860,000	800,000
	4 年 次	前 期	5月10日	授 業 料					320,000
実 験 実 習 費								60,000	
施 設 費								50,000	
小 計								430,000	
後 期		10月10日	授 業 料					320,000	
			実 験 実 習 費					60,000	
			施 設 費					50,000	
			小 計					430,000	
年 額 合 計							860,000		
3 年 間 薬 学 研 究 科 は 4 年 間 合 計			1,960,000	2,500,000	2,710,000	2,650,000	3,570,000	2,530,000	

(注) 1. 入学手続金は、「入学金」と「授業料等（授業料、実験実習費、施設費）の前期分」を合計した額です。
2. 学費は、毎年次、前期・後期の学期ごとに納めてください。
3. 新入学生の後期分学費振込依頼書は、7月末までに送付します。
4. 2年目以降の学費振込依頼書は、4月上旬に前期分・後期分を年に1回まとめて送付します。
5. 学費は変更になる場合がありますので、「入学手続要項」で確認してください。

■外国人留学生の学費について

下記の条件を満たし、私費外国人留学生A奨学生として認められた人は、授業料の10分の3が奨学金として支給されます。

〔資格〕

① 在留資格が「留学」の私費外国人留学生で、経済的に就学が困難であると認められる者

〔選考の要件〕

- ① 1ヶ月の収入額が授業料等相当額を控除後9万円以下で、授業料等の軽減を要すると認められる者
- ② 入学から通算して修業年限を超えない者
- ③ 2年次の修士（博士前期）課程の大学院生は、前年度の修得単位数が10単位以上である者
- ④ 2年次以上の博士（博士後期）課程の大学院生は、研究継続意思があり研究の進捗が確認できる者

※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。

（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）

所得証明書は〔選考の要件〕①『1ヶ月の収入額が授業料等相当額を控除後9万円以下で、授業料等の軽減を要すると認められる者』に該当するかを審査する資料として使用します。所得証明書は年度毎に提出が必要です。私費外国人留学生A奨学生の選考の要件を満たしていないことが入学後に確認された場合は、後日差額分を徴収します。

■長期履修学生制度について

社会人を対象に、修業年限を超えて在学でき、学費の負担が軽減される制度があります。

詳細は、16～18ページを参照してください。

「長期履修学生制度」について《社会人対象》

「長期履修学生制度」とは、職業等に従事しながら学習を希望する社会人の学習機会を一層拡大する観点から、個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて履修を行い、所定の単位修得等の要件を満たして修了することにより、学位取得が可能となる弾力的な制度です。

この制度は、社会人入学試験を受験する者のうち、修業年限を超えて在学することを予定し、本大学が正規学生（以下「長期履修学生」という）として認めた上で入学する者を対象としています。

職業、勤務時間等の関係で通常の修業年限で修了できない社会人学生にとっては、本制度を利用した場合、利用せずに留年した場合と比べ、学費の経済的負担が軽減されます。

※社会人学生とは、在学中継続して勤務する学生をいいます（主婦を含む）。

1 対象者

社会人入学試験を受験する者のうち、職業、勤務時間等の制約により、通常の修業年限〔修士（博士前期）課程：2年、博士後期課程：3年、博士課程（4年制）：4年〕を超える履修を希望する者。

〈実施研究科〉

修士（博士前期）課程：法学、経営学、経済学、人間学、都市情報学、5月初旬以降にお知らせします。理工学、農学、総合学術

博士（博士後期課程）：法学、経営学、経済学、都市情報学、理工学、農学、総合学術

博士課程（4年制）：薬学

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

2 在学年限および年間修得単位数

長期履修学生が在学できる最長年限は修士（博士前期）課程「4年」、博士後期課程「6年」、博士課程（4年制）「8年」とし、各学年において履修・修得できる単位数の制限は、通常の修業年限の学生と同様です。なお、学年進行中、事情により、当初の履修計画年数を短縮することができます。

※上記年限を超えて在学はできませんので、ご注意ください。

3 申請手続

「長期履修学生制度」の利用を希望する場合は、出願時に「長期履修学生制度申請書」（巻末に綴り込み）を提出してください。

※入学後に「長期履修学生制度」の申請を行うことはできませんので、ご注意ください。

4 注意事項

長期履修学生は、事情により、当初の履修計画年数を短縮することができますが、その場合学費総額の差額が生じるため、修了確定後、1週間程度の間に差額分の支払いが必要となります。

5 問い合わせ先

入学センター TEL (052) 838-2018

長期履修学生学費一覧表《修士（博士前期）課程・社会人》

〔予定〕2026年度入学者学費一覧表 (単位：円)

学年	納入期限		学 費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科		人間学研究科		都市情報学 研究科		5月初旬以降にお知らせします。 理工学研究科		農学研究科		総合学術研究科	
				3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了
1年次	入学 手続時	入学 手続締切日	入 学 金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授 業 料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	—	—	—	—	—	—	42,000	33,000	42,000	33,000	—	—
			施 設 費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小 計	350,000	307,500	366,500	320,000	410,000	352,500	433,000	369,500	426,500	365,000	413,000	354,500
	後 期	10月10日	授 業 料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	—	—	—	—	—	—	42,000	33,000	42,000	33,000	—	—
			施 設 費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小 計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
			年 額 合 計	570,000	485,000	603,000	510,000	690,000	575,000	736,000	609,000	723,000	600,000	696,000	579,000
2年次	前 期	5月10日	授 業 料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	—	—	—	—	—	—	42,000	33,000	42,000	33,000	—	—
			施 設 費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小 計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	後 期	10月10日	授 業 料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	—	—	—	—	—	—	42,000	33,000	42,000	33,000	—	—
			施 設 費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小 計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
			年 額 合 計	440,000	355,000	473,000	380,000	560,000	445,000	606,000	479,000	593,000	470,000	566,000	449,000
3年次	前 期	5月10日	授 業 料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	—	—	—	—	—	—	42,000	33,000	42,000	33,000	—	—
			施 設 費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小 計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	後 期	10月10日	授 業 料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	—	—	—	—	—	—	42,000	33,000	42,000	33,000	—	—
			施 設 費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小 計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
			年 額 合 計	440,000	355,000	473,000	380,000	560,000	445,000	606,000	479,000	593,000	470,000	566,000	449,000
4年次	前 期	5月10日	授 業 料		152,500		165,000		190,500		174,500		170,000		192,500
			実験実習費		—		—		—		33,000		33,000		—
			施 設 費		25,000		25,000		32,000		32,000		32,000		32,000
			小 計		177,500		190,000		222,500		239,500		235,000		224,500
	後 期	10月10日	授 業 料		152,500		165,000		190,500		174,500		170,000		192,500
			実験実習費		—		—		—		33,000		33,000		—
			施 設 費		25,000		25,000		32,000		32,000		32,000		32,000
			小 計		177,500		190,000		222,500		239,500		235,000		224,500
			年 額 合 計		355,000		380,000		445,000		479,000		470,000		449,000
			合 計	1,450,000	1,550,000	1,549,000	1,650,000	1,810,000	1,910,000	1,948,000	2,046,000	1,909,000	2,010,000	1,828,000	1,926,000

(注) 1. 留年した場合は、最終学年の授業料等相当額を納入してください。
2. 在学期間を短縮した場合は、短縮した年数の学費総額との差額を納入してください。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

長期履修学生学費一覧表《博士（博士後期）課程・社会人》

〔予定〕2026年度入学者学費一覧表

(単位：円)

学年	納入 期限		学 費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科			都市情報学 研究科			理工学研究科			農学研究科			薬学研究科				総合学術 研究科		
				4年修了	5年修了	6年修了	4年修了	5年修了	6年修了	4年修了	5年修了	6年修了	4年修了	5年修了	6年修了	5年修了	6年修了	7年修了	8年修了	4年修了	5年修了	6年修了
1 年次	入学 手続時	入 学 金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
		授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	371,000	333,000	307,500	438,500	387,000	352,500	465,000	408,000	370,000	457,500	402,000	365,000	484,000	433,500	397,000	370,000	442,500	390,000	355,000	
	後 期 10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	612,000	536,000	485,000	747,000	644,000	575,000	800,000	686,000	610,000	785,000	674,000	600,000	838,000	737,000	664,000	610,000	755,000	650,000	580,000	
2 年次	前 期 5月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000	
	後 期 10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000	
3 年次	前 期 5月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000	
	後 期 10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000	
4 年次	前 期 5月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000	
	後 期 10月10日	授 業 料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000	
		実験実習費	—	—	—	—	—	—	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	—	—	—	
		施 設 費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000	
		小 計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000	
		年 額 合 計	482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000	
5 年次	前 期 5月10日	授 業 料		175,000	152,500		219,000	187,500		200,000	170,000		194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000		222,000	190,000	
		実験実習費		—	—		—	—		40,000	35,000		40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000		—	—	
		施 設 費		28,000	25,000		38,000	35,000		38,000	35,000		38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000		38,000	35,000	
		小 計		203,000	177,500		257,000	222,500		278,000	240,000		272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000		260,000	225,000	
		年 額 合 計		406,000	355,000		514,000	445,000		556,000	480,000		544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000		625,000	520,000	
	後 期 10月10日	授 業 料		175,000	152,500		219,000	187,500		200,000	170,000		194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000		222,000	190,000	
		実験実習費		—	—		—	—		40,000	35,000		40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000		—	—	
		施 設 費		28,000	25,000		38,000	35,000		38,000	35,000		38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000		38,000	35,000	
		小 計		203,000	177,500		251															

奨学生制度

1 名城大学学内奨学生制度【給付】

奨学生制度には、人物や学業成績優秀者が対象のもの、経済的に困難な学生が対象のもの等があり、選考のうえ決定されます。なお詳細は、本学ウェブサイト（<https://www.meijo-u.ac.jp/campus/support/index.html>）を参照ください。

■名城大学学内奨学生

※今後、事情により変更する場合がありますので、ご了承ください。

1. 学業優秀奨学生

名 称	対 象 者	人 数 ・ 給 付 額
大学院学業優秀奨学生	大学院生で、学業成績および人物優秀者。	90名、年額一律30万円

2. 修学援助奨学生

名 称	対 象 者	人 数 ・ 給 付 額
修学援助B奨学生	主たる家計支持者（学費負担者）の死亡、疾病、失業（自己都合を除く）、または、火災、風水害等の被害により家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず経済的に著しく困難となった者。	該当する者全員、年額一律30万円
大規模自然災害経済支援奨学生	災害救助法が適用された（または外務省による国際緊急援助が行われた）大規模自然災害により家計が急変し、修学が困難になった学生および入学試験出願者。 ※希望者は出願前までに入学センターへお問い合わせください。	該当する者全員、授業料・実験実習費・施設費の年額、または1/2の額（被災状況による）。 入学試験出願者は、入学検定料、入学金の全額も給付する。

3. 特別奨学生

名 称	対 象 者	人 数 ・ 給 付 額
大学院奨学生	各研究科の基準による。	各研究科の基準による。
本学卒業等補助奨学生	①本学卒で研究科、他の学部へ入学する者。 ②本学に籍を置いた者で退学の後、再度入学する者。	該当する者全員、入学金の額
校友会奨学生	人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者。	校友会の指定する人数、額
赤崎勇賞	大学院博士後期課程又は博士課程在学生のうち、教育研究活動等に関する業績が特に優れている者（理工学研究科においては博士前期課程又は修士課程も含める。）	各年度5名（理工学研究科から4名＋理工学研究科を含む全研究科から1名） 一律20万円
日本学術振興会特別研究員奨学生	日本学術振興会特別研究員（DC1、DC2）に採用された者。	該当する者全員 授業料・実験実習費・施設費の額
海外英語研修派遣支援A奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラム又は学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者。	毎年180名以内。 20万円または研修費用総額の1/2のいずれか少ない額。
海外英語研修派遣支援B奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラム又は学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者。	該当する者全員、5万円
アジア大学教員学位取得支援奨学生	アジアの大学教員または大学と雇用契約を結ぶ研究助手（RA）で博士の学位取得後に大学教員となる見込みの高い者。ただし、入学時に修士の学位を有しており、本大学の博士後期課程への入学が認められていること。	毎年2名以内、在籍者全員で6名以内、入学金、授業料、実験実習費および施設費の額

4. 私費外国人留学生A奨学生

外国人留学生（「留学」の在留資格を持つ外国籍学生）が対象です。詳しくは15ページ「外国人留学生の学費について」を参照ください。

2 日本学生支援機構（JASSO）奨学生【貸与】

毎年春及び秋に募集。優れた学生であって経済的理由により修学が困難な学生に、在学中に貸与されます。

種 類		利子	貸与時期	貸 与 額
第一種奨学金		無利子	毎月 1 回	修士課程：月額50,000円または88,000円
				博士課程：月額80,000円または122,000円
授業料後払い制度	授業料支援金		学校指定月	年額（最大）776,000円＋保証料相当額
	生活費奨学金		毎月 1 回	月額 0 円（利用しない）、2 万円、4 万円から選択
第二種奨学金		有利子	毎月 1 回	月額 5 万円、8 万円、10万円、13万円、15万円から選択

（2025年度現在）

※学部の時にJASSOの給付奨学金の支給を受けていた人が、大学院修士課程・博士前期課程に進学を希望し、かつ第一種貸与奨学金の利用を考えている場合に、業績優秀による返還免除内定候補者として申請できる制度がございます。詳細については、学務センター生活支援グループにお問い合わせください。

3 都道府県・市町村・民間奨学団体奨学生

各団体から本学に募集があり次第、掲示板でお知らせします。
募集は主に4月～5月です。大学を通さず直接募集をしている場合もあります。

法 学 研 究 科

法学研究科は、変動する国内外の法的・政治的分野及びその交錯する分野に関して、規範と実践の両面から研究または実務を行う人材の養成を目的とする。

修士課程授業科目

憲法	I (統治機構)	民事手続法 I (民事訴訟法)
憲法	II (人權保障)	民事手続法 II (民事執行・保全法)
憲法	III (憲法訴訟)	民事手続法 III (倒産法)
憲法	IV (比較憲法)	民事手続法 IV (裁判外紛争処理制度)
憲法	V (多文化共生)	労働法 I (個別的労働関係法)
行政法	I (一般理論)	労働法 II (集団的労働関係法)
行政法	II (行政作用法)	経済法 I (総論)
行政法	III (地方自治法)	経済法 II (各論)
行政法	IV (行政救済法)	法哲学 I (法理論)
行政法	V (行政組織法)	法哲学 II (正義論)
租税法	I (総論)	法社会学 I (総論)
租税法	II (租税争訟法・手続法)	法社会学 II (各論)
租税法	III (所得税)	法制史 I (日本法制史)
租税法	IV (法人税)	法制史 II (日本法制史史料解題)
租税法	V (相続税)	法制史 III (西洋法制史)
租税法	VI (消費税)	法制史 IV (西洋法制史史料解題)
国際法	I (総論)	政治学 I (政治理論・思想)
国際法	II (各論)	政治学 II (行政学)
国際法	III (組織)	政治学 III (国際政治学)
国際法	IV (人権)	政治学 IV (政治過程論)
刑事法	I (刑法理論)	外国法 I (英米法)
刑事法	II (刑法判例)	外国法 II (大陸法)
刑事法	III (刑事訴訟法)	基礎法特別(東洋法史論)
刑事法	IV (刑事政策)	政治学特別(政治史)
刑事法	V (現代刑事法)	政治学特別(外交史)
民法	I (総則)	公法研究指導 I
民法	II (債権総論)	公法研究指導 II
民法	III (債権各論)	私法研究指導 I
民法	IV (物権)	私法研究指導 II
民法	V (親族)	基礎法学研究指導 I
民法	VI (相続)	基礎法学研究指導 II
国際私法	I (国際民事手続法)	政治学研究指導 I
国際私法	II (準拠法)	政治学研究指導 II
企業法	I (企業組織法)	
企業法	II (金融・有価証券法)	
企業法	III (企業の取用法)	
企業法	IV (知的財産法)	
企業法	V (企業取引と税務)	

博士後期課程授業科目

[illegible]

法学研究科 修士課程

1 募集専攻・専修分野（専修科目） ※希望の教員が指導教員とならないことがありますので、ご了承ください。

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
法学研究科	法学専攻	憲法学、行政法学、租税法、刑事法学、民法、企業法学、民事手続法学、社会法学、法制史学、政治学

2 選 拔 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点〈評価〉		備 考
一 般	10:00 ~ 12:00	13:00 ~	筆記試験の「専修科目1科目」は、「募集専修分野（専修科目）」から、入学以降に研究指導を希望する科目を選択してください（合格者は、受験時における専修科目を入学以降の専修科目とします）。 「選択科目1科目」は、「専修科目1科目」として選択した「専修科目」以外の1科目、または「外国語（英語・独語・中国語から1科目）」を選択してください。なお、この場合の「専修科目」には「募集専修分野（専修科目）」以外に「国際法学」・「法哲学」も含まれます。 出願時に入学志願票「志望専修分野」欄に「専修科目1科目」、「選択科目1科目」を予め明記してください。さらに「選択科目1科目」として「外国語」を選択する場合は、入学志願票「試験科目」の「外国語」欄のいずれかに「○」を付してください。 ※ポケット六法は貸与 ※外国語辞書は1冊持込可。ただし電子辞書は持込不可
	筆記試験 （専修科目1科目 〈100点〉 および 選択科目1科目 〈100点〉）	面接 （ABC 評価）	
外 国 人	10:00 ~ 12:00	13:00 ~	①小論文（2時間） 志望専修科目1問 ②面接 日本語および基礎学力に関する試問 ・ただし、受験のための出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。 ※ポケット六法は貸与
	小 論 文 〈100点〉	面接 （ABC 評価）	
社 会 人	口 述 試 験 （ABC 評価）		特に「志願理由書」および「研究計画書」に基づき、口述試験を行います。

3 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
一 般 外 国 人 社 会 人	天白キャンパス 「タワー 75」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格

試験区分	出願資格条件
一 般	① (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 (注) 上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。（上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 3年以上（2026年4月1日現在）の実務経験を有する者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (2) 本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外 国 人 または 海 外 の 大 学 出 身 者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業（見込）証明書 (4) 住民票（出願前3か月以内に取得したもの） (注) 窓口受付の時に、「在留カード」の両面のコピーを取ることでこれに代えることができます。 (5) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） (注) 親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (3) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付していません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社 会 人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けてください。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 志願理由書（本学所定の用紙） (3) 最終出身大学の成績証明書 (4) 最終出身大学の卒業（見込）証明書 (注) (1) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (2) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型 2 号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
一 般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 志願理由書 (3) ア. 大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 (注) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ. 短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 (4) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外 国 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (3) 私費外国人留学生 A 奨学生願書 (4) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年 6 月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年 1 月 1 日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社 会 人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 (1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（本学所定の用紙）〔修士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください〕 (3) 業績報告書（その 1）（本学所定の用紙）〔所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください〕 ※なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その 2）に記載し、出願書類と併せて提出してください（論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません）。 (4) 出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター／国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ～ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

法学研究科 博士後期課程

1 募集専攻・研究指導科目

研究科	専攻	研究指導科目
法学研究科	法律学専攻	憲法特殊研究、行政法特殊研究、刑事法特殊研究、民法特殊研究、企業法特殊研究、民事手続法特殊研究、社会法特殊研究、法制史特殊研究、政治学特殊研究

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点〈評価〉			備考
一般	9:30～11:00	11:45～13:15	14:00～	・外国語は、出願時に英語・独語・中国語のうち1科目選択。 ※外国語辞書は各科目1冊持込可、ただし電子辞書は不可。 ・論文は、各人の研究主題に関連する基礎科目について、筆記試験を行います。 ※司法試験用六法貸与。 ・口述は、各人の研究主題に関連する基礎科目を中心に試問を行います。
	外国語 〈100点〉	論文 〈100点〉	口述試験 〈ABC評価〉	
外国人	9:30～11:00	11:45～13:15	14:00～	・外国語は、出願時に英語・独語のうち1科目選択。 ※外国語辞書1冊持込可、ただし電子辞書は不可。 ・論文は、各人の研究主題に関連する基礎科目について、筆記試験を行います。 ※司法試験用六法貸与。 ・口述は、各人の研究主題に関連する基礎科目を中心に、口述試問を行います。 ・ただし、受験のための出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。
	外国語 〈100点〉	論文 〈100点〉	口述試験 〈ABC評価〉	
社会人	口述試験 〈ABC評価〉			・口述は、各人の研究主題に関連する基礎科目を中心に、試問を行います。

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
一般 外国人 社会人	天白キャンパス 「タワー75」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4

出願資格 ※出願希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。(平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号) (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記 ①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ②の条件を満たしている者。(上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記 ①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ③の条件を満たしている者。 ③ 5年以上(2026年4月1日現在)の実務経験を有する者。

5

出願資格の確認手続

試験区分	提 出 書 類
外 国 人 または 海 外 の 大 学 出 身 者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 住民票(出願前3か月以内に取得したもの) (注) 窓口受付の時に、「在留カード」の両面のコピーを取ることでこれに代えることができます。 (7) 保証人(学費負担者等)届書(本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人(学費負担者等)とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例: 成績証明書に記載されている科目一覧(語学・体育科目を除く)のシラバス原文および日本語訳等) 追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
一 般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (6) 修士論文の要旨 ※（8000字程度） ※修士論文を作成していない者は、研究計画書（本学所定の用紙）[博士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] を提出してください。 (7) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外 国 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士論文の要旨（4000字程度または英語の場合は1500語程度） (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (4) 私費外国人留学生 A 奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社 会 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (3) 最終出身大学の成績証明書 (4) 最終出身大学の卒業証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (6) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (7) 研究計画書（本学所定の用紙）[博士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] (8) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください] ※なお、論文・出版物等過去に公表したものがあ場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください（論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません）。 (9) 修士論文またはそれに相当するものおよび修士論文内容要旨（8000字程度） (10) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター／国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ～ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

経営学研究科

経営学研究科は、21世紀のグローバル化社会における営利・非営利組織体の運営に係る実践的理論を追求し、問題解決能力を有する研究職・専門職人材及び高度専門職人材の養成を目的とする。

修士課程授業科目

<経営学・ものづくりシステムコース>

経営管理研究	実践マネジメントシステム設計
労務管理研究	グローバル経営戦略研究
情報産業組織研究	人材開発マネジメント研究
経営組織研究	ベンチャー起業論研究
国際経営研究	マーケティング戦略研究
経営史研究	マーケティング戦略研究
国際産業集積研究	NPO起業研究
経営戦略研究	実践コスト・マネジメント研究
コーポレート・ガバナンス研究	海外企業移転研究
マーケティング研究	実践起業研究
流通研究	アジア企業研究
マーケティング情報システム研究	ヨーロッパ企業研究
研究開発マネジメント研究	労使関係研究
生産技術研究	企業内教育研究
実践品質管理研究	労務監査研究
実践情報システム設計	経営情報システム研究
実践生産システム設計	環境マネジメント研究
プロセス・マネジメント研究	経営学外国文献研究
	経営学研究指導Ⅰ・Ⅱ

<会計学・ファイナンスコース>

財務会計研究	税務会計研究
制度会計研究	環境会計研究
会計監査研究	非営利組織体会計研究
管理会計研究	コーポレート・ファイナンス研究
コスト・マネジメント研究	インベストメント・マネジメント研究
国際会計研究	金融システム研究
経営分析研究	金融機関経営研究
実践経営分析研究	会計学・ファイナンス外国文献研究
知的財産研究	会計学・ファイナンス研究指導Ⅰ・Ⅱ

<共通>

経営学特別講義Ⅰ（考える方法を考える）
経営学特別講義Ⅱ（企業フィールドワーク）

博士後期課程授業科目

経営学研究指導Ⅰ～Ⅲ	経営学特殊研究Ⅰ～Ⅷ
会計学研究指導Ⅰ～Ⅲ	会計学特殊研究Ⅰ～Ⅷ
経営財務論研究指導Ⅰ～Ⅲ	経営財務論特殊研究Ⅰ～Ⅷ
学位論文ワークショップ	

経営学研究科 修士課程

1 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
経営学研究科	経営学専攻	〈経営学・ものづくりシステムコース〉 労務管理研究、国際産業集積研究、経営戦略研究、コーポレート・ガバナンス研究、マーケティング研究、実践情報システム設計、アジア企業研究、ヨーロッパ企業研究、労使関係研究、経営情報システム研究、環境マネジメント研究、人材開発マネジメント研究、マーケティング戦略研究 〈会計学・ファイナンスコース〉 財務会計研究、制度会計研究、管理会計研究、コスト・マネジメント研究、国際会計研究、環境会計研究、非営利組織体会計研究、コーポレート・ファイナンス研究、インベストメント・マネジメント研究、金融システム研究、金融機関経営研究

※指導教員との事前面談は必須ではありませんが、名城大学のホームページ（以下リンク参照）から、教員の専門分野および教員情報を確認の上、専修分野（専修科目）を選択してください。 https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_business/educator.html

2 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	9:00～10:30	10:45～11:45	12:45～	論文は、志望コースから1問、残り1問は自由選択してください。 ※外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。
	論 文 〈100点〉	外国語（英語） 〈100点〉	面 接 〈ABCD 評価〉	
外 国 人	9:00～10:00		10:15～	日本語論文は、経営学・ものづくりシステムコース、会計学・ファイナンスコースのうち、志望コースの科目について1問選択してください。 ※日本語論文、面接、書類審査により、可否を判定します。 面接時間等については受験票送付の際にご連絡します。
	日 本 語 論 文 〈100点〉		面 接 〈ABCD 評価〉	
社 会 人	9:00～10:00		10:15～	①論文は、経営学・ものづくりシステムコース、会計学・ファイナンスコースのうち、志望コースの科目について1問選択してください。 ②「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。
	論 文 〈100点〉		口 述 試 験 〈ABCD 評価〉	
社 会 人 特 別 選 考	12:00～			「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。
	口 述 試 験 〈 A B C D 評 価 〉			

3 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
一 般 外 国 人 社 会 人 社 会 人 特 別 選 考	天白キャンパス 「タワー 75」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	① (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 (注) 上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。（上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 大学を卒業、または大学院を修了して、社会人として1年以上（入学時現在）の経験を有する者。 (2) 本研究科が特に認めた者。
社 会 人 特 別 選 考	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記④の条件を満たしている者。（上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ④ (1) 社会保険労務士として登録していること。 (2) 4年制大学を卒業した者又はそれと同等以上の能力を有する者。 (3) 社会保険労務士として登録後、2年以上を経過した者。 (4) 全国社会保険労務士会連合会中部地域協議会から推薦された者。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙）※「研究計画」は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業（見込）証明書 (4) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 (5) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）(1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (3) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (6) 就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）(1) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (2) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願用の宛名ラベルを貼ること

試験区分	出願書類
一般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) ア. 大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ. 短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (3) 研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (4) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外国人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出願資格確認通知書（出願資格手続により、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (3) 私費外国人留学生A奨学生願書 (4) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。

試験区分	出 願 書 類
社 会 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (3) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等（経営学に関するもの以外でも構いません）過去に公表したものがあれば、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 (4) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (注) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 〈外国人留学生の方は、上記の他に下記の書類を提出してください〉 (1) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 (2) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） (注) 親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。
社 会 人 特 別 選 考	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 研究計画書（本学所定の用紙） (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2）書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3）出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（**締切日必着**）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 そ の 他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター／国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ～ PM 5:20
 ※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
 ※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

経営学研究科 博士後期課程

1 募集専攻・研究指導科目

研究科	専攻	研究指導科目
経営学研究科	経営学専攻	経営学研究指導Ⅰ～Ⅲ、会計学研究指導Ⅰ～Ⅲ、経営財務論研究指導Ⅰ～Ⅲ

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	9:00～10:30	10:45～11:45	12:00～	・論文は、各人の研究主題に関する基礎科目について筆記試験を行います。 ・外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文を中心に行います。
	論 文 (100点)	外国語（英語） (100点)	口 述 試 験 (ABCD 評価)	
外 国 人	9:00～10:30	10:45～11:45	12:00～	・論文は、各人の研究主題に関する基礎科目について筆記試験を行います。 ・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文を中心に行います。
	論 文 (100点)	外国語（英語） (100点)	口 述 試 験 (ABCD 評価)	
社 会 人	12:00～			各人の研究計画書・修士論文等の出願書類をもとに行います。
	口 述 試 験 (ABCD 評価)			

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
一 般 外 国 人 社 会 人	天白キャンパス 「タワー 75」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記 ① (1)～(6) のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ② の条件を満たしている者。（上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記 ① (1)～(6) のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ③ の条件を満たしている者。 ③ 3年以上（入学時現在）の実務経験を有する者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙）※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。 不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出願書類
一般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の卒業証明書 （3）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （4）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （5）修士論文およびその要旨 （6）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （7）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。
外国人	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）修士論文および修士論文内容要旨 （3）出願資格確認通知書（出願資格手続により、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （4）私費外国人留学生A奨学生願書 （5）授業料の一部納期延期願 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。 不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。

試験区分	出 願 書 類
社 会 人	(1) 入学志願票 (本学所定の用紙) (2) 研究計画書 (本学所定の用紙) ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (3) 業績報告書 (その1) (本学所定の用紙) 所属機関の概要 (業種・事業内容) および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがあれば、業績報告書 (その2) に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 (4) 修士論文またはそれに相当するもの (5) 出願資格確認通知書 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書 (本学所定の用紙) 〔注意事項〕 出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 〈外国人留学生の方は、上記の他に下記の書類を提出してください〉 (1) 住民票 (出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付の場合は、「在留カード」のコピー (写し) を取ることでこれに代えることができます。 (2) 保証人 (学費負担者等) 届書 (本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人 (学費負担者等) とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください (締切日必着)。

(外国人のみ入学センター窓口持参可)

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
(提出先) 名城大学入学センター

7) その他

学費については14~15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項 (10~13ページ) を参照してください。

8) 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ~ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

経済学研究科

経済学研究科は、経済活動の諸分野において、理論と洞察力、専門的見識と情報分析力をもつ、研究者・専門家及び高度な技能と実践的な知識を有する職業人の養成を目的とする。

経済学研究科授業科目

専修分野	修士課程		博士後期課程	
	研究指導科目	講義科目	演習科目	講義科目
理論経済・経済史	理・研 論 研究 経済指 導 経済史	マクロ経済学研究 ミクロ経済学研究 情報の経済学研究 経済理論研究 経済思想研究 経済統計学研究 西洋経済史研究 日本経済史研究	理論経済・経済史演習Ⅰ 理論経済・経済史演習Ⅱ 理論経済・経済史演習Ⅲ	マクロ経済学特殊研究 ミクロ経済学特殊研究 情報の経済学特殊研究 経済理論特殊研究 経済統計学特殊研究 経済史特殊研究
経済政策	経 研 済 政 指 導	財政学研究 地方財政論研究 金融論研究 労働経済論研究 アジア経済論研究 中国経済論研究 国際経済論研究 環境経済論研究	経済政策演習Ⅰ 経済政策演習Ⅱ 経済政策演習Ⅲ	財政学特殊研究 金融論特殊研究 労働経済論特殊研究 アジア経済論特殊研究 環境経済論特殊研究
現代産業構造	現 代 産 業 構 造 研 究 指 導	工業経済論研究 交通経済学研究 農業経済論研究 現代企業論研究 中小企業論研究 地域産業論研究 経済地理学	現代産業構造演習Ⅰ 現代産業構造演習Ⅱ 現代産業構造演習Ⅲ	工業経済論特殊研究 交通経済学特殊研究 現代企業論特殊研究 中小企業論特殊研究 地域産業論特殊研究

経済学研究科 修士課程

1 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科・専攻	専修分野	研究指導科目	講義科目
経済学・経済学	理論経済・経済史	理論経済・経済史 研究指導	マクロ経済学研究・ミクロ経済学研究、情報の経済学研究、 経済理論研究、経済思想研究、経済統計学研究、西洋経済史研究、 日本経済史研究
	経済政策	経済政策 研究指導	地方財政論研究、金融論研究、アジア経済論研究、 中国経済論研究、国際経済論研究、環境経済論研究
	現代産業構造	現代産業構造 研究指導	工業経済論研究、交通経済学研究、農業経済論研究、現代企業論研究、 中小企業論研究、地域産業論研究、経済地理学研究

※指導教員との事前面談は必須ではありませんが、名城大学のホームページ (https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_economics/educator.html) から、教員情報を確認の上、専修分野（専修科目）を選択してください。年度により開講されない科目がある場合もあります。

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
特 別 選 考	10:45 ～ □ 述 試 験 （ABCD 評価）			「研究計画書」および出願書類に基づき、試問を行います。
一 般	9:00 ～ 10:30	10:45 ～ 11:45	12:00 ～	論文は、第一志望分野から 1 問題、残り 1 問題を、既に選択した問題を除く全問題から自由に選択し、合計 2 問題を解答していただきます。 ※外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。
	論 文 （100点）	外国語（英語） （100点）	面 接 （ABCD 評価）	
外 国 人	9:00 ～ 10:30	10:45 ～		①日本語論文 日本語論文は、第一志望分野から 1 問題、残り 1 問題を、既に選択した問題を除く全問題から自由に選択し、合計 2 問題を解答していただきます。 ※日本語論文、面接、書類審査により、可否を判定します。 面接時間等については受験票送付の際にご連絡します。
	日 本 語 論 文 （100点）	面 接 （ABCD 評価）		
社 会 人	10:45 ～ □ 述 試 験 （ABCD 評価）			「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
特別選考 外国人 社会人	天白キャンパス 「タワー 7 5」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目 5 0 1 番 地

4 出願資格

試験区分	出 願 資 格 条 件
特 別 選 考	学業および人物ともに優れ、出願資格 ① のいずれかの条件を満たし、さらに出願資格 ② のいずれかの条件を満たし、出願資格確認を得た者。 ① (1) 2026年3月に本学を卒業見込みの者で出願期間以前に所属する専門ゼミ指導教員または学部長から推薦を得られる者。 (2) 2026年3月に他大学を卒業見込みの者で出願期間以前に所属する専門ゼミ指導教員または学部長から推薦を得られる者。 ② (1) 出願時に証明される成績において、卒業要件(例:124単位)の80%以上の単位(例:100単位/124単位)を修得し、かつ、1/2(例:62単位/124単位)以上で最上位の評価(A以上あるいは優等)を得ている者。 (2) 所属学科の4年次在学者のうち成績上位1/3以上である者。 ※本試験は専願です。専願とは、名城大学大学院経済学研究科修士課程入学試験に合格した場合、必ず名城大学に入学していただくということです。
一 般	③ (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (7) 文部科学大臣の指定した者。(昭和28年文部省告示第5号) (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 (注) 上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記 ③ (1)~(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ④ の条件を満たしている者。(上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ④ 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語能力試験(JLPT)N2以上に合格し、受講ならびに日常生活に困難でないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記 ③ (1)~(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ⑤ のいずれかの条件を満たしている者。 ⑤ (1) 大学を卒業、または大学院を修了して、3年以上(入学時現在)の社会的経験を有する者。 (2) 本研究科が特に認めた者。 (日本国籍以外の者は、さらに日本語能力試験(JLPT)N2以上に合格し、受講ならびに日常生活に困難でないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。)

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
特別選考	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （1）志願理由書（本学所定の用紙） （2）成績証明書（出願資格 Ⅱ-（1）、Ⅱ-（2）のいずれかを確認できるもの） （3）卒業見込証明書 （4）推薦書 不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。
外国人 または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。 提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙）※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （6）日本語能力試験（JLPT）N2以上の合格通知書または認定書のコピー（写し） （7）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付していません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。 提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 〈日本国籍以外の者は日本語能力試験（JLPT）N2以上の合格通知書または認定書のコピー〉 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（7）」を、併せて提出してください。 不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。

6 出願方法

1）出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出願書類
特別選考	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （3）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

試験区分	出 願 書 類
外国人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (3) 私費外国人留学生A奨学生願書 (4) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。） 15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社会人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (3) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがあ場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 (4) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 〈日本国籍以外の者は、上記の他に下記の書類を提出してください〉 (1) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 (2) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。

2）書類提出に際しての注意

- （1）出願書類に不備がある場合は、受付できませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- （2）出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- （3）出願書類は一切返還しません。

3）出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

（提出先） 名城大学入学センター

7 そ の 他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

名城大学 入学センター／または国際化推進センター

TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ～ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

経済学研究科 博士後期課程

1 募集専攻・専修分野（演習科目）

研究科・専攻	専修分野	演習科目
経済学・経済学	理論経済・経済史	理論経済・経済史演習Ⅰ 理論経済・経済史演習Ⅱ 理論経済・経済史演習Ⅲ
	経済政策	経済政策演習Ⅰ 経済政策演習Ⅱ 経済政策演習Ⅲ
	現代産業構造	現代産業構造演習Ⅰ 現代産業構造演習Ⅱ 現代産業構造演習Ⅲ

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	9:00～10:30	10:45～11:45	12:00～	・論文は、経済学の基礎学力を問う筆記試験を行います。 ・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文および研究計画書を中心に行います。
	論 文 〈100点〉	外国語（英語） 〈100点〉	口 述 試 験 〈ABCD 評価〉	
外 国 人	9:00～10:30	10:45～11:45	12:00～	・論文は、経済学の基礎学力を問う筆記試験を行います。 ・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文および研究計画書を中心に行います。
	日 本 語 論 文 〈100点〉	外国語（英語） 〈100点〉	口 述 試 験 〈ABCD 評価〉	
社 会 人	10:45～			・口述試験は、各人の研究計画書・修士論文等の出願書類をもとに行います。
	口 述 試 験 〈ABCD 評価〉			

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
一般 外国人 社会人	天白キャンパス 「タワー 75」または 「共通講義棟」	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。(平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号) (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。(上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難でないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③の条件を満たしている者。 ③ 5年以上(入学時現在)の実務経験を有する者。 外国人留学生の方は上記①(1)～(6)のいずれかの条件及び、上記②の条件を満たし、さらに上記③の条件を満たしている者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提 出 書 類
外 国 人 または 海 外 の 大 学 出 身 者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm)に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること)へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います。(窓口受付可) (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) ※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 住民票(出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー(写し)を取ることでこれに代えることができます。 (7) 保証人(学費負担者等)届書(本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人(学費負担者等)とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例：成績証明書に記載されている科目一覧(語学・体育科目を除く)のシラバス原文および日本語訳等) 追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社 会 人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm)に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること)へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 就業経験を証明できる書類(様式任意) (注) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類(1)～(8)」を、併せて提出してください。不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

6 出 願 方 法

1) 出願書類(市販の角型2号封筒(240×332mm)に出願用の宛名ラベルを貼ること)

試験区分	出 願 書 類
一 般	(1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の卒業証明書 (3) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (5) 修士論文および修士論文内容要旨(8000字程度) 修了見込みの者の修士論文の提出についてはご相談ください。 (6) 研究計画書(本学所定の用紙) ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (7) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) 〔注意事項〕 出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。

試験区分	出 願 書 類
外国人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士論文および修士論文内容要旨（4000字程度、英語の場合は1500語程度） 修了見込みの者の修士論文の提出についてはご相談ください。 (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (4) 私費外国人留学生A奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社会人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 (3) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 (4) 修士論文またはそれに相当するものおよび修士論文内容要旨（4000字程度、英語の場合は1500語程度） 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (5) 出願確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 〈日本国籍以外の者は、上記の他に下記の書類を提出してください〉 (1) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付の場合は、「在留カード」のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 (2) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。

2）書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受付できませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3）出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（**締切日必着**）。

（**外国人のみ入学センター窓口持参可**）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 そ の 他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター／または国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8 : 50 ～ PM 5 : 20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

人間学研究科

人間学研究科は、人間に関するテーマを探究・展開できる研究能力とともに、総合的で柔軟な判断力、多元的・複雑化した社会で求められるコミュニケーション能力、高い公共性と倫理性を備えた人材の養成を目的とする。

修士課程授業科目

人 間 学 特 別 演 習	コミュニケーション特別演習	公 共 性 と 現 代 社 会 特 論	人 間 学 特 別 研 究
教 育 基 盤 開 発 学 特 論	臨 床 教 育 心 理 学 特 論	都 市 文 化 環 境 学 特 論	歴 史 社 会 論 特 論
教 育 人 間 行 動 学 特 論	社 会 心 理 学 特 論	環 境 人 間 学 特 論	英 米 文 学 特 論
人 間 形 成 基 軸 論 特 論	健 康 心 理 学 特 論	英 語 学 特 論	言 語 学 特 論
家 族 関 係 社 会 学 特 論	社 会 学 理 論 特 論	多 文 化 共 生 特 論	学 外 語 学 研 修
社 会 コミュニケーション特論	学 校 教 育 文 化 特 論	教 育 社 会 調 査	発 達 心 理 学 演 習
	ヨ ー ロ ッ パ 文 化 特 論		

人間学研究科 修士課程

1 募集専攻・研究指導領域

研究科	専攻	研究指導科目
人間学研究科	人間学専攻	人間学（心理分野、社会・教育分野、国際・コミュニケーション分野）

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
推 薦	10：30～ 口述試験 ＜100点＞			「志望理由書・研究計画書」に基づき、基本知識、人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。
一 般	9：30～10：30 筆記試験 外国語（英語） ＜100点＞ ※外国語試験は、外部資格の成績により免除されます。詳細は5ページをご確認ください。	10：40～11：40 筆記試験 専門科目試験（心理分野、社会・教育分野、国際・コミュニケーション分野） ＜100点＞	12：00～ 口述試験 ＜100点＞	・外国語試験は、英語辞書の持込可。ただし、電子辞書は不可。 ・専門科目試験で解答する分野を「心理」「社会・教育」「国際・コミュニケーション」の3分野の中から1分野を選択し、『名城大学大学院入学志願票』にある「試験科目 専門科目 修士（博士前期）課程」の欄に記載してください。なお、解答を希望する分野は、3分野のうち、入学後に取り組む研究内容と整合した分野でなければなりません。 ・口述試験は、「志望理由書・研究計画書」に基づき、人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。
外 国 人	9：30～11：00 筆記試験 専門科目試験（心理分野、社会・教育分野、国際・コミュニケーション分野） ＜100点＞			・筆記試験では、人間についての研究に関連する基礎的な知識と学力を問います。筆記試験は、「心理」「社会・教育」「国際・コミュニケーション」の3分野から1分野を選び、解答していただく形式です。どの分野を選ぶかは、出願時に確認します。なお、解答を希望する分野は、3分野のうち、入学後に取り組む研究内容と整合した分野でなければなりません。 ・口述試験は、「入学試験調査票」に基づき、基本知識及び日本語と人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。
社 会 人	10：30～ 口述試験 ＜100点＞			「志望理由書・研究計画書」に基づき、基本知識および人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。

※本研究科出願予定者は、研究指導希望教員との面談が必要になります。詳細は次ページを確認してください。

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
推 一 外 社 国 会 人	ナゴヤドーム前 キャンパス	名古屋市東区矢田南四丁目102番9

4 出願資格

試験区分	出願資格条件
推薦	①【学内推薦（専願）】 2026年3月に人間学部を卒業見込みの者で、下記のいずれかの条件を満たしていること。 （１）3年次終了時点での成績が上位3分の1以上である者。 （２）人間学部長もしくは指導教員の推薦が得られる者。 本試験は専願です。 ②【他大学出身者推薦】 2026年3月に他大学を卒業見込みの者（本学人間学部以外の学部を含む）で、下記のいずれかの条件を満たしていること。 （１）出願時に証明される成績において、卒業要件（例：124単位）の80%以上の単位（例：100単位／124単位）を修得し、かつ、そのうち2分の1以上の科目（例：50単位／100単位）において、最上位の成績評価（例：「ＡＢＣＤ」評価であれば「Ａ」、「優良可」評価であれば「優」）を得ている者。 （２）所属大学の学部長もしくは指導教員の推薦が得られる者。 本試験は専願です。
一般	③ 下記のいずれかの条件を満たしていること。 （１）学校教育法83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 （２）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 （３）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （６）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （７）文部科学大臣の指定した者。 （８）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力であると認めた者。 （９）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。
外国人	上記③（１）～（９）のいずれかの条件を満たし、さらに下記④の（１）に加えて、（２）・（３）のいずれかの条件を満たしている者。（上記（８）（９）で出願を希望する者は事前審査を必要としますので、出願資格確認期間前までに入学センターに問い合わせてください。） ④（１）出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者。 （２）日本語能力試験（JLPT）N1もしくは1級に合格し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （３）本研究科において（２）と同等以上の日本語能力があると認めた者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記③（１）～（９）のいずれかの条件を満たし、さらに下記⑤のいずれかの条件を満たしている者。 ⑤（１）1年以上（入学時現在）の社会的経験を有する者。 （２）本研究科が特に認めた者。

5 研究指導希望教員との面談

本研究科出願予定者は、下記の期限までに入学センターを通して研究指導を希望する教員と面談し、受け入れの了承を得る必要がありますので、入学センターに問い合わせてください。研究分野の相違等により、研究指導希望教員が受け入れできない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

試験区分	研究指導希望教員との面談受付期限
推薦	出願期間開始前まで
一般	出願期間開始前まで
外国人	出願資格確認期間開始前まで
社会人	出願期間開始前まで

6 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
一般	出願資格 ③ の（８）（９）で出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人 または 海外の 大学出身者	出願資格 ③ の（８）（９）で出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに国際化推進センターに問い合わせてください。 出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型 2 号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。 提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （４）住民票（出願前 3 か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （５）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （６）日本語能力試験（JLPT）N1 もしくは 1 級の合否結果通知書または認定書のコピー（写し）。 ※ただし、出願資格 ③-（３）により出願を希望する者は不要 （７）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに入学センターに問い合わせてください。 （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（７）」を、併せて提出してください。出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに入学センターに問い合わせてください。

7 出願方法

1) 出願書類（市販の角型 2 号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出願書類
推薦	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）志望理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙） 出願予定者は、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、入学センターまでお問い合わせください。 （４）所属大学の学部長または指導教員の推薦書 ※出願資格 ①-（１）、②-（１）で出願する場合は不要。 （５）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） ※（３）・（４）については、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、出願予定者は入学センターまでお問い合わせください。なお、（４）を必要とする学内推薦出願予定者は、フォーマット取得後、人間学部長もしくは指導教員に記入を依頼してください。
一般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （３）志望理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙） 出願予定者は、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、入学センターまでお問い合わせください。 （４）英語に関する外部資格の成績を証明する書類（コピー可）（外国語試験免除希望者のみ） （免除となる基準） ・TOEIC720点以上（TOEIC IP 不可） ・英検準 1 級以上 上記以外の外部資格により免除を希望される方は、別途入学センターまでお問い合わせください。 （５）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

外国人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (3) 私費外国人留学生A奨学生願書 (4) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社会人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) ア. 大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 (注) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ. 短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 (3) 志望理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙） 出願予定者は、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、入学センターまでお問い合わせください。 (4) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、必ず簡易書留で郵送してください（締切日必着）。
（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
（提出先） 名城大学入学センター

8 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

9 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)
〔事務取扱時間〕
平日 AM 8:50 ～ PM 5:20
※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

都市情報学研究科

都市情報学研究科は、サービスサイエンスの観点から、新しい時代の理想的な都市社会を創造する専門職人材及びまちづくりをあらゆる面でリードする学問領域を修得した研究者の養成を目的とする。

修士課程授業科目

社会システム学

総合政策特論Ⅰ
総合政策特論Ⅱ
都市政策特論Ⅰ
都市政策特論Ⅱ
情報数理特論Ⅰ
情報数理特論Ⅱ
サービスサイエンス特論Ⅰ
サービスサイエンス特論Ⅱ
社会システム学特別研究Ⅰ
社会システム学特別研究Ⅱ
社会システム学特別研究Ⅲ
社会システム学特別研究Ⅳ

都市創造学

総合環境特論Ⅰ
総合環境特論Ⅱ
都市基盤特論Ⅰ
都市基盤特論Ⅱ
情報基盤特論Ⅰ
情報基盤特論Ⅱ
サービスサイエンス特論Ⅰ
サービスサイエンス特論Ⅱ
都市創造学特別研究Ⅰ
都市創造学特別研究Ⅱ
都市創造学特別研究Ⅲ
都市創造学特別研究Ⅳ

博士後期課程授業科目

社会システム学

総合政策特講
都市政策特講
情報数理特講
社会情報システム学特殊研究Ⅰ
社会情報システム学特殊研究Ⅱ
社会情報システム学特殊研究Ⅲ
社会情報システム学特殊研究Ⅳ
社会情報システム学特殊研究Ⅴ
社会情報システム学特殊研究Ⅵ
人間情報システム学特殊研究Ⅰ
人間情報システム学特殊研究Ⅱ
人間情報システム学特殊研究Ⅲ
人間情報システム学特殊研究Ⅳ
人間情報システム学特殊研究Ⅴ
人間情報システム学特殊研究Ⅵ

都市創造学

総合環境特講
都市基盤特講
情報基盤特講
社会基盤創造学特殊研究Ⅰ
社会基盤創造学特殊研究Ⅱ
社会基盤創造学特殊研究Ⅲ
社会基盤創造学特殊研究Ⅳ
社会基盤創造学特殊研究Ⅴ
社会基盤創造学特殊研究Ⅵ
都市環境創造学特殊研究Ⅰ
都市環境創造学特殊研究Ⅱ
都市環境創造学特殊研究Ⅲ
都市環境創造学特殊研究Ⅳ
都市環境創造学特殊研究Ⅴ
都市環境創造学特殊研究Ⅵ

都市情報学研究科 修士課程

1 募集専攻・専修分野（専修科目）

研 究 科	専 攻	専 修 分 野（専 修 科 目）
都市情報学研究科	都市情報学専攻	〈社会システム学〉 総合政策特論Ⅰ、総合政策特論Ⅱ、都市政策特論Ⅰ、都市政策特論Ⅱ、情報数理特論Ⅰ、 情報数理特論Ⅱ、サービスサイエンス特論Ⅰ、サービスサイエンス特論Ⅱ、 社会システム学特別研究Ⅰ、社会システム学特別研究Ⅱ、社会システム学特別研究Ⅲ、 社会システム学特別研究Ⅳ 〈都市創造学〉 総合環境特論Ⅰ、総合環境特論Ⅱ、都市基盤特論Ⅰ、都市基盤特論Ⅱ、 情報基盤特論Ⅰ、情報基盤特論Ⅱ、サービスサイエンス特論Ⅰ、 サービスサイエンス特論Ⅱ、都市創造学特別研究Ⅰ、都市創造学特別研究Ⅱ、 都市創造学特別研究Ⅲ、都市創造学特別研究Ⅳ

※指導教員の講義1科目2単位、特別研究Ⅰ～Ⅳの合計8単位を選定し、専修科目とします。

2 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備	考
一 般	10:00～11:30	12:30～14:00	14：15～	小論文は、次の経済、経営、財政、行政、地域計画、開発、環境、情報、数理の9つの試験分野（科目）の中から1つの試験分野を選択し、都市情報学に関する基礎的知識と学力を問います。出願時に、必ず志願票の選択試験科目欄（専門試験科目）に選択した1つの試験分野を申請登録して、試験当日に解答してください。 外国語試験は、出題される3問のうち2問を自由に選択して解答してください。 辞書の持込を可とします。ただし、電子辞書類は不可。	
	小 論 文 〈100点〉	外国語（英語） 〈100点〉	面 接 〈ABC 評価〉		
外 国 人	10：00～11：30	12：30～14：00	14：15～		
	小 論 文 〈100点〉	外国語（英語） 〈100点〉	面 接 〈ABC 評価〉		
	ただし、受験のための出国許可が得られない者については、出願書類等によって判定します。				
社 会 人	口述試験（「志願理由書」「研究計画書」に基づき試問します）〈ABC 評価〉				

3 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
一 般 人 外 国 社 会 人	ナゴヤドーム前 キャンパス	名古屋市東区矢田南四丁目102番9

共通事項
修 士
博士後期
法学研究科
経営学研究科
経済学研究科
人間学研究科
都市情報科学
情報工科学
理工学研究科
農学研究科
薬学研究科
総合学術

4 出願資格

試験区分	出願資格条件
一般	① (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 ①（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ② の条件を満たしている者。（上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 ※受験希望者は、事前に専修分野の指導教員に問い合わせてください。
社会人	上記 ①（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに ③ のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 大学を卒業、または大学院を修了して3年以上（2026年4月1日現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (2) 本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書、を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）最終出身大学の成績証明書 （4）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

6 出願方法

1）出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出願書類
一般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （3）指導教員の承諾書（本学所定の用紙） （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

試験区分	出 願 書 類
外国人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 指導教員の承諾書（本学所定の用紙） (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (4) 私費外国人留学生A奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。） 15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社会人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 (1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（本学所定の用紙）[修士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] (3) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください] ※なお、論文・出版物等過去に公表したものがあある場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。 (4) 出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒461-8534 名古屋市東区矢田南四丁目102番9
 名城大学 都市情報学研究科学務担当
 TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 9:00 ～ PM 5:00

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

都市情報学研究科 博士後期課程

1 募集専攻・専修分野（専修科目）

研 究 科	専 攻	専 修 分 野（ 専 修 科 目 ）
都市情報学研究科	都市情報学専攻	〈社会システム学〉 総合政策特講、都市政策特講、情報数理特講、社会情報システム学特殊研究Ⅰ、社会情報システム学特殊研究Ⅱ、社会情報システム学特殊研究Ⅲ、社会情報システム学特殊研究Ⅳ、社会情報システム学特殊研究Ⅴ、社会情報システム学特殊研究Ⅵ、人間情報システム学特殊研究Ⅰ、人間情報システム学特殊研究Ⅱ、人間情報システム学特殊研究Ⅲ、人間情報システム学特殊研究Ⅳ、人間情報システム学特殊研究Ⅴ、人間情報システム学特殊研究Ⅵ 〈都市創造学〉 総合環境特講、都市基盤特講、情報基盤特講、社会基盤創造学特殊研究Ⅰ、社会基盤創造学特殊研究Ⅱ、社会基盤創造学特殊研究Ⅲ、社会基盤創造学特殊研究Ⅳ、社会基盤創造学特殊研究Ⅴ、社会基盤創造学特殊研究Ⅵ、都市環境創造学特殊研究Ⅰ、都市環境創造学特殊研究Ⅱ、都市環境創造学特殊研究Ⅲ、都市環境創造学特殊研究Ⅳ、都市環境創造学特殊研究Ⅴ、都市環境創造学特殊研究Ⅵ

※指導教員の特講2単位、特殊研究Ⅰ～Ⅵの合計12単位を選定し、専修科目とします。

2 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）		備 考
一 般	10:00～11:30 外 国 語（ 英 語 ） 〈100点〉	11:45～ 口 述 試 験 〈ABC 評価〉	外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 口述試験は、各人の修士論文を中心に口述試問を行います。
	10:00～11:30 外 国 語（ 英 語 ） 〈100点〉	11:45～ 口 述 試 験 〈ABC 評価〉	
外 国 人	10:00～11:30 外 国 語（ 英 語 ） 〈100点〉	11:45～ 口 述 試 験 〈ABC 評価〉	・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文を中心に口述試問を行います。
社 会 人	口述試験（「研究計画書」「修士論文」等の出願書類をもとに試問を行います。）〈ABC 評価〉		

3 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
一 般 外 国 人 社 会 人	ナゴヤドーム前 キャンパス	名古屋市東区矢田南四丁目102番9

4 出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
一般	① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。(平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号) (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。(上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに③のいずれかの条件を満たしていることが必要です。 ③ (1) 上記①(1)～(4)は、大学院修士課程を修了後3年以上(2026年4月1日現在)の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (2) 上記①(5)～(6)は、大学を卒業後5年以上(2026年4月1日現在)の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 住民票(出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー(写し)を取ることでこれに代えることができます。 (7) 保証人(学費負担者等)届書(本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人(学費負担者等)とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例: 成績証明書に記載されている科目一覧(語学・体育科目を除く)のシラバス原文および日本語訳等) 追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格の確認期間内に「入学センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 志願理由書(本学所定の用紙) (3) 博士後期課程論文指導教員の承諾書(本学所定の用紙) (4) ア. 大学院修了者……最終出身大学院の修了証明書および成績証明書 最終出身大学の成績証明書 イ. 大学卒業後……最終出身大学の卒業証明書および成績証明書 (注) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類(1)～(8)」を、併せて提出してください。 不明な点がございましたら、入学センターへ問い合わせてください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型 2 号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
一 般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (4) 最終出身大学の卒業証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (6) 修士課程を修了している者は、修士論文の写し及びその要旨（3000字程度） 修士課程在学中の者は、修士論文の要旨（3000字程度） (7) 博士後期課程指導教員の承諾書（本学所定の用紙） (8) 研究計画書（本学所定の用紙）〔博士論文作成のための具体的な研究計画書を、3000字程度にまとめてください〕 (9) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外 国 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士課程を修了している者は、修士論文の写し及びその要旨（3000字程度、ただし英文の場合は800words 程度） 修士課程在学中の者は、修士論文の要旨（3000字程度、ただし英文の場合は800words 程度） (3) 博士後期課程指導教員の承諾書（本学所定の用紙） (4) 研究計画書〔博士論文作成のための具体的な研究計画書を A 4 用紙を使用し3000字程度にまとめてください。〕 (5) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (6) 私費外国人留学生 A 奨学生願書 (7) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年 6 月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年 1 月 1 日に日本に居住していない場合は必要ありません。） 15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社 会 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 研究計画書（博士論文作成のための具体的な研究計画等を、A 4 用紙を使用し3000字程度にまとめてください） (3) 業績報告書（その 1）（本学所定の用紙）〔所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください〕 (4) 修士論文の写し及びその要旨（3000字程度、ただし英文の場合は800words 程度）《修士の学位論文を提出した者のみ》 ※なお、論文・出版物等、過去に公表したものがあ場合は、業績報告書（その 2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。 (5) 出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
（提出先） 名城大学入学センター

7 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒461-8534 名古屋市東区矢田南四丁目102番 9
名城大学 都市情報学研究科学務担当
TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 9:00 ～ PM 5:00

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

※設置構想中の情報工学研究科につきましては、
文部科学省への届け出後の募集となりますので、5月初旬以降の掲載予定です。

交通機械工学専攻

エネルギー科学特論 I
エネルギー科学特論 II
推進工学特論 I
推進工学特論 II
推進工学特論 III
流体科学特論 I
流体科学特論 II
流体システム特論 I
流体システム特論 II
エネルギー・流体工学特別演習・実験 I A
エネルギー・流体工学特別演習・実験 I B
エネルギー・流体工学特別演習・実験 II A
エネルギー・流体工学特別演習・実験 II B
計算力学特論 I
計算力学特論 II
材料科学特論 I
材料科学特論 II
材料力学特論 I
材料力学特論 II
材料力学特論 III
軽量構造学特論 I
軽量構造学特論 II

メカトロニクス工学専攻

知能計測システム学特論
情報システム制御工学特論
計測システム学特論
計測システム学特論
ロボットシステムデザイン学特論
知能ロボット学特論
計測制御システム学特別演習・実験 I A
計測制御システム学特別演習・実験 I B
計測制御システム学特別演習・実験 II A
計測制御システム学特別演習・実験 II B
情報メカトロニクス学特論
先端信号処理学特論
知能システム制御工学特論
制御工学特論
機械情報システム学特論
知能機械学特論
機能システム構築学特論
機能システム制御特論
機能システム構築学特別演習・実験 I A
機能システム構築学特別演習・実験 I B
機能システム構築学特別演習・実験 II A

社会基盤デザイン工学専攻

構造解析学特論 I
構造解析学特論 II
構造設計学特論 I
構造設計学特論 II
構造工学特別演習・実験 I A
構造工学特別演習・実験 I B
構造工学特別演習・実験 II A
構造工学特別演習・実験 II B
河川工学特論 I
河川工学特論 II
水理学特論 I
水理学特論 II
水文学特論 I
水文学特論 II
水工学特別演習・実験 I A
水工学特別演習・実験 I B
水工学特別演習・実験 II A
水工学特別演習・実験 II B
地盤工学特論 I
地盤工学特論 II
地盤解析学特論 I
地盤解析学特論 II
地盤工学特別演習・実験 I A
地盤工学特別演習・実験 I B

環境創造工学専攻

環境材料学特論
資源循環学特論
構造性能学特論
エネルギー創成学特論
エネルギー変換学特論
エネルギー環境工学特論

適応構造システム学特論 I
適応構造システム学特論 II
材料・構造工学特別演習・実験 I A
材料・構造工学特別演習・実験 I B
材料・構造工学特別演習・実験 II A
材料・構造工学特別演習・実験 II B
マンマシンシステム学特論 I
マンマシンシステム学特論 II
知的制御特論 I
知的制御特論 II
自動車システム学特論 I
自動車システム学特論 II
制御・システム工学特別演習・実験 I A
制御・システム工学特別演習・実験 I B
制御・システム工学特別演習・実験 II A
制御・システム工学特別演習・実験 II B
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義 I
特別講義 II

機能システム構築学特別演習・実験 II B
機能システム学特論
ナノ・マイクロシステム制御特論
ナノ・マイクロ知能システム特論
マイクロロボット学特論
ナノ・マイクロ制御システム特論
応用電磁気学特論
電子デバイス学特論
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験 I A
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験 I B
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験 II A
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験 II B
医療機械システム特論
バイオシステム特論
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義 I
特別講義 II

地盤工学特別演習・実験 II A
地盤工学特別演習・実験 II B
都市システム工学特論 I
都市システム工学特論 II
都市デザイン工学特論 I
都市デザイン工学特論 II
交通システム工学特論 I
交通システム工学特論 II
都市・交通計画学特別演習・実験 I A
都市・交通計画学特別演習・実験 I B
都市・交通計画学特別演習・実験 II A
都市・交通計画学特別演習・実験 II B
建設材料学特論 I
建設材料学特論 II
建設材料力学特論 I
建設材料力学特論 II
建設材料学特別演習・実験 I A
建設材料学特別演習・実験 I B
建設材料学特別演習・実験 II A
建設材料学特別演習・実験 II B
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義 I
特別講義 II

エネルギー管理工学特論
水環境工学特論
水処理工学特論
エネルギー・資源循環学特別演習・実験 I A
エネルギー・資源循環学特別演習・実験 I B
エネルギー・資源循環学特別演習・実験 II A
エネルギー・資源循環学特別演習・実験 II B

エネルギー・資源循環学特別演習・実験 II B
環境生物工学特論
バイオマス科学特論
地盤数値解析学特論
地盤物質移動解析学特論
大気環境科学特論
地球観測情報特論
環境共生学特別演習・実験 I A
環境共生学特別演習・実験 I B
環境共生学特別演習・実験 II A
環境共生学特別演習・実験 II B
環境共生学特別演習・実験 II B
空間計画学特論
環境デザイン学特論

建築学専攻

建築・地域デザイン特論 I
建築・地域デザイン特論 II
建築技術史特論
建築計画特論
建築スペースデザイン特論
建築歴史意匠特論
建築空間特論
建築空間計画特論
建築スペースデザイン総合設計演習 I A
建築スペースデザイン総合設計演習 I B
建築スペースデザイン総合設計演習 II A
建築スペースデザイン総合設計演習 II B
建築史特論
建築設計総合特論
建築設計特論
建築・都市空間特論
建築環境デザイン特論
建築環境計画特論
建築環境工学特論 A
建築環境工学特論 B
建築環境デザイン特別演習・実験 I A
建築環境デザイン特別演習・実験 I B
建築環境デザイン特別演習・実験 II A
建築環境デザイン特別演習・実験 II B
建築設備設計特論
建築材料・生産特論
コンクリート工学特論 A
コンクリート工学特論 B
建築材料デザイン特別演習・実験 I A

構造動態学特論
構造分析学特論
人間環境工学特論
サステナブルデザイン特論
人間活動環境学特別演習・実験 I A
人間活動環境学特別演習・実験 I B
人間活動環境学特別演習・実験 II A
人間活動環境学特別演習・実験 II B
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義 I
特別講義 II

建築材料デザイン特別演習・実験 I B
建築材料デザイン特別演習・実験 II A
建築材料デザイン特別演習・実験 II B
建築構造工学特論
建築構造工学特論 II
建築構造工学特論 III
建築構造解析特論
建築構造解析特論 II
建築応用力学特論
建築応用力学特論 II
建築構造デザイン特論
建築構造工学特別演習・実験 I A
建築構造工学特別演習・実験 I B
建築構造工学特別演習・実験 II A
建築構造工学特別演習・実験 II B
鉄骨構造学特論
建築実践特論
建築外観特別演習
実践インターンシップ A-1
実践インターンシップ A-2
実践インターンシップ A-3
実践インターンシップ A-4
実践インターンシップ B-1
実践インターンシップ B-2
実践インターンシップ C-1
実践インターンシップ C-2
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義 I
特別講義 II

博士（博士後期）課程研究指導科目 ※1

数学専攻

代数学特殊研究 I ～ VI
幾何学特殊研究 I ～ VI
大域解析学特殊研究 I ～ VI
関数方程式特殊研究 I ～ VI
数理情報科学特殊研究 I ～ VI
数学特殊講義 I ・ II

電気・情報・材料・物質工学専攻

電気工学特殊研究 I ～ VI
電子システム特殊研究 I ～ VI
情報工学特殊研究 I ～ VI
エレクトロニクス材料工学特殊研究 I ～ VI
インテリジェント材料工学特殊研究 I ～ VI
先端物質特殊研究 I ～ VI
分子素材特殊研究 I ～ VI
電気電子工学特殊講義 I ・ II
情報工学特殊講義 I ・ II
材料機能工学特殊講義 I ・ II
応用化学特殊講義 I ・ II
研究インターンシップ

機械工学専攻

設計機能特殊研究 I ～ VI
ロボット工学特殊研究 I ～ VI
反応性ガス力学特殊研究 I ～ VI
熱現象計測特殊研究 I ～ VI
粘性流体力学特殊研究 I ～ VI
生産加工学特殊研究 I ～ VI
材料設計工学特殊研究 I ～ VI
破壊制御システム工学特殊研究 I ～ VI
材料機能工学特殊講義 I ・ II
機械工学特殊講義 I ・ II
交通機械工学特殊講義 I ・ II
メカトロニクス工学特殊講義 I ・ II
研究インターンシップ

社会環境デザイン工学専攻

構造システム学特殊研究 I ～ VI
構造材料学特殊研究 I ～ VI
空間構造デザイン学特殊研究 I ～ VI
水域環境工学特殊研究 I ～ VI
地盤工学特殊研究 I ～ VI
地盤計画学特殊研究 I ～ VI
住環境デザイン学特殊研究 I ～ VI
社会基盤デザイン工学特殊講義 I ・ II
環境創造学特殊講義 I ・ II
建築学特殊講義 I ・ II
研究インターンシップ

※1 2025年度入学生の授業科目であり、2026年度入学生の場合、変更する可能性があります。

理工学研究科 修士(博士前期)課程

1 募集専攻・専修分野（専修科目）

研 究 科	専 攻	専 修 分 野（ 専 修 科 目 ）
理 工 学 研 究 科	数 学	代数学（代数的整数論、環論、代数的構造論） 幾何学（微分幾何学、解析幾何学） 関数解析学（関数方程式、複素解析学） 大域解析学（大域解析学、大域空間解析学） 情報数学（確率及び量子情報論、確率過程論、数論の確率論、計算機数学、非線形数理）
	電 気 電 子 工 学	エネルギー環境工学 電子物性デバイス工学 システム情報通信工学 電子生命情報工学
	材 料 機 能 工 学	ナノ・インテリジェント材料（ナノ電子材料、光物性工学、ナノ分析、量子光エレクトロニクス、エネルギー環境材料） エレクトロニクス材料（エレクトロニクス材料、エレクトロニクスデバイス、半導体デバイス、光・量子エレクトロニクス） コンポジット材料（コンポジット材料、表面改質材料、生体材料、金属材料）
	応 用 化 学	生命有機化学 物質物理化学 環境・エネルギー科学
	機 械 工 学	熱・流体（熱工学、高温気体力学、粘性流体工学、流体工学） 材料・強度（材料強度応用工学、材料システム工学、先進材料評価学） 設計・生産（マイクロマシニング、生産加工システム工学、創造設計工学、統合設計工学） 運動力学・制御（機械機能工学、生体工学、知的制御工学、機械知能工学）
	交 通 機 械 工 学	エネルギー・流体工学（エネルギー科学、推進工学、流体科学、流体システム） 材料・構造工学（材料科学、構造力学、軽量構造学、適応構造システム学） 制御・システム工学（マンマシンシステム学、知的制御、自動車システム学）
	メカトロニクス工学	計測制御システム学 機能システム構築学 マルチスケールメカトロニクス
	社会基盤デザイン工学	構造工学（構造解析学、構造設計学） 水工学（河川工学、水理学、水文学） 地盤工学（地盤工学、地盤解析学） 都市・交通計画学（都市システム工学、交通システム工学） 建設材料学（建設材料学、建設材料力学）
	環 境 創 造 工 学	エネルギー・資源循環学（環境材料学、資源循環学、構造性能学、エネルギー創成学、エネルギー変換学、エネルギー環境工学、エネルギー管理工学、水環境工学、水処理工学） 環境共生学（環境生物学、バイオマス科学、地盤数値解析学、地盤物質移動解析学、大気環境科学、地球観測情報学） 人間活動環境学（空間計画学、環境デザイン学、構造動態学、構造分析学、人間環境工学、サステナブルデザイン）
	建 築 学	建築スペースデザイン 建築環境デザイン 建築材料デザイン 建築構造工学

2 選 抜 方 法

試験区分		試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	数 学 専 攻	9:00~11:30	専門科目	300点	筆記試験についての注意事項を参照すること。
		11:45~12:45	外国語（英語）	100点	
		14:00~	面接（口頭試問を含む）	3段階評価	
	全 専 攻 （数学専攻、建築学専攻を除く）	9:00~11:30	専門科目	300点	専門科目の選択については、 専門科目一覧 を参照すること。
			外国語（TOEIC スコア）※3	100点	
			面接（口頭試問を含む）	3段階評価	
	建 築 学 専 攻	9:00~11:30	専門科目（建築設計製図を除く）	300点	面接試験の開始時間は筆記試験会場で案内します（数学専攻を除く）。
		13:30~16:30	建築設計製図		
			外国語（TOEIC スコア）※3	100点	
			面接（口頭試問を含む）	3段階評価	
推 薦	全 専 攻		面接（口頭試問を含む）	3段階評価	試験時間は受験ポータルサイト「UCARO」にて連絡します。
			書類審査		
外 国 人 ※1、※2	全 専 攻		面接（日本語等の口頭試問を含む）	3段階評価	
			書類審査		
社 会 人 ※1	全 専 攻		面接（口頭試問を含む）	3段階評価	
			書類審査		

※1 外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課す場合があります。

※2 受験のため出国許可が得られない者については、書類審査のみで選抜します。

※3 外国語（TOEIC スコア）については、出願書類の TOEIC® Listening & Reading Test のスコアをもって外国語試験の点数とします。点数の換算は次の換算表の範囲で行います。

TOEIC L & R	外国語（TOEIC スコア）
800点	100点
130点	0点

筆記試験についての注意事項

（1）専門科目の選択は、試験開始後です。また、指定科目等（専門科目一覧参照）を間違えて解答した場合は、採点しません。

（2）専門科目の試験では次のものが持込み可です。

専 攻	持 込 み 可 の も の
電 気 電 子 工 学 専 攻	（1）電卓（専攻で用意したもの）
材 料 機 能 工 学 専 攻	（1）定規 （2）電卓（プログラム機能のないもの）
応 用 化 学 専 攻	（1）電卓（プログラム機能のないもの）
機 械 工 学 専 攻	（1）定規 （2）コンパス （3）電卓（プログラム機能のないもの）
交 通 機 械 工 学 専 攻	
メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 専 攻	（1）定規 （2）コンパス （3）電卓（専攻で用意したもの）
社 会 基 盤 デ ザ イ ン 工 学 専 攻	（1）電卓（プログラム機能のないもの）
環 境 創 造 工 学 専 攻	
建 築 学 専 攻	（1）電卓（プログラム機能のないもの）
	（1）定規（専攻で用意したもの） （2）コンパス（専攻で用意したもの） （3）電卓（プログラム機能のないもの） （4）鉛筆（製図用）

（3）数学専攻の外国語（英語）の試験では英和辞典が持込み可です。（電子辞書および専門用語用の辞書は不可です。）

〔別表1〕 理工学研究科専門試験科目一覧

専攻名	専門試験科目名
数 学 専 攻	(1) 線形代数学、微分積分学（必ず選択すること） (2) 志望する専修科目の指定科目を含み、下記から2科目を選択する。 (指定科目) 環 論 特 論：代数学 関数方程式特論：関数方程式 代数的整数論特論：整数論 複素解析学特論：複素解析 代数的構造論特論：代数学 非線形数理特論：関数方程式 微分幾何学特論：幾何学 大域解析学特論：大域解析 解析幾何学特論：幾何学 大域空間解析学特論：大域解析 確率過程論特論：確率及び統計数学 確率及び量子情報論特論：確率及び統計数学 数論の確率論特論：確率及び統計数学
電気電子工学専攻	下記の全科目を受験すること。 電気磁気学、電気回路、電子回路
材料機能工学専攻	志望する専修分野の指定科目を含み、下記から3科目を選択する。 電磁気学、量子力学、熱・統計力学、材料力学、物性論、電子物性工学、機械材料、材料加工学 (指定科目) ナノ・インテリジェント材料分野：物性論 エレクトロニクス材料分野：電子物性工学 コンポジット材料分野：機械材料
応 用 化 学 専 攻	志望する専修分野の指定科目を含み、下記から3科目を選択する。 有機化学、無機化学、物理化学（熱力学・反応速度論）、量子化学、高分子化学（生化学を含む）、分析化学（機器分析を含む） (指定科目) 生 命 有 機 化 学 分 野：有機化学 物 質 物 理 化 学 分 野：物理化学（熱力学・反応速度論） 環境エネルギー科学分野：無機化学
機 械 工 学 専 攻	志望する専修分野を含み、2つの専修分野の指定科目（4科目）を選択する。 (指定科目) 熱・流体分野：熱力学、流体力学 材料・強度分野：材料力学、材料強度学 設計・生産分野：機械要素、機械加工学 運動力学・制御分野：機械力学、制御工学
交通機械工学専攻	下記全科目を受験のこと。 工業力学、熱力学、流体力学、材料力学（機械材料含む）
メカトロニクス工学専攻	下記から3科目を選択する。 電磁気学 電気・電子回路 制御工学 信号処理工学 機械力学・材料力学
社会基盤デザイン工学専攻	志望する専修分野の指定科目を含み、下記から3科目を選択する。 (指定科目) 構 造 工 学 分 野：構造力学 水 工 学 分 野：水理学 地 盤 工 学 分 野：土質力学 都市・交通計画学分野：社会基盤計画学 建 設 材 料 学 分 野：建設材料工学
環境創造工学専攻	志望する専修分野の指定科目を含み、下記から3科目を選択する。 (指定科目) エネルギー・資源循環学分野：環境材料学、化学工学、熱力学、水処理学 環 境 共 生 学 分 野：生態学、土壌地下水汚染学、環境気象学 人 間 活 動 環 境 学 分 野：環境文化論、構造力学、快適性創造学
建 築 学 専 攻	(1) 建築設計製図、建築共通専門科目（必ず選択すること） (2) 志望する専修分野の指定科目（出題範囲）を選択する。 専門試験科目名の後の（ ）内は、科目内容を示します。 建築スペースデザイン分野：建築スペースデザイン（建築計画、都市計画、建築歴史意匠） 建 築 環 境 デ ザ イ ン 分 野：建築環境デザイン（建築環境工学、建築設備工学） 建 築 材 料 デ ザ イ ン 分 野：建築材料デザイン（建築材料・生産） 建 築 構 造 工 学 分 野：建築構造工学（構造力学、建築構造、応用数学）

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
一般 推薦 外国人 社会人	天白キャンパス	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格

試験区分	出願資格
一般	出願資格（１）～（９）のいずれかに該当する者。 （１）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 （２）学校教育法104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 （３）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 （６）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月修了見込みの者。 （７）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） （８）大学に3年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科が認めた者。※1 （９）個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 （注1）出願資格（８）、（９）により出願する場合は、事前審査等を必要としますので、出願期間の前までに入学センターに問い合わせてください。
推薦	学業、人物ともに優れ、在籍している大学の指導教員、学科長等の推薦が得られ、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者で、2026年3月末までに大学を卒業見込みの者。さらに合格した場合、入学を確約できる者。 （注1）本学理工学部 に在籍している場合、推薦が得られる基準は入学センター掲示板に2025年4月に掲示されます。本人の成績については、指導教員に問い合わせてください。
外国人	出入国管理及び難民認定法において、留学の在留資格を有する者、または得られる者で、試験区分「一般」の出願資格（１）～（９）のいずれかに該当し、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者。 （注1）試験区分「一般」の出願資格（１）により出願する場合は、一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課することがあります。出願期間の1か月前までに指導希望教員に問い合わせてください。 （注2）試験区分「一般」の出願資格（２）～（９）により出願する場合は、出願資格の確認を受ける必要があります。
社会人	社会人として1年以上従事した者、または2026年3月末までに1年以上従事する見込みの者で、試験区分「一般」の出願資格（１）～（９）のいずれかに該当し、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者。 （注1）一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課することがあります。出願期間の1か月前までに指導希望教員に問い合わせてください。 （注2）出願資格の確認を受ける必要があります。

※1 試験区分「一般」の出願資格（８）については、次のとおりです。

①募集は、数学専攻（二次）です。

②対象者は、3年次終了までに、卒業に必要な単位の5分の4以上を修得できる見込みの者で、かつ、3年次前期までに修得した科目の5分の4以上の評価が、A（100点満点で80点以上）である者です。

③大学を中途退学して、本研究科に入学するという取扱いとなります。

5 出願資格の確認手続

外国人、かつ、出願資格（２）～（９）により出願する場合または海外の大学出身者は、出願資格確認期間（締切日必着）に次の書類を「国際化推進センター」宛（市販の角型２号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送、または窓口に提出します。社会人については、出願資格確認期間（締切日必着）に次の書類を「入学センター」（市販の角型２号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送します。ただし、海外の大学出身者については、外国人の提出書類（１）～（８）を、併せて提出してください。

出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。

試験区分	提出書類	注意事項
外国人 または 海外の大学出身者 ※1	（１）入学試験調査票（本学所定の用紙）	
	（２）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したもの。日本語、英語以外のものは、日本語、または英語に訳したものを添付します。
	（３）卒業（見込）証明書※1	
	（４）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙）	
	（５）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（６）住民票	出願の３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、住所、国籍・地域、在留資格、在留期間、在留カードの番号が記載されたもの。在留カードの写しを窓口でとることで、これに代えることができます。日本に居住していない場合は、入学手続の際に提出します。
	（７）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙）	親族以外を保証人とする場合は、支弁能力を証する文書の提出を求める場合があります。
	（８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
社会人	（１）入学試験調査票（本学所定の用紙）	
	（２）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したもの。
	（３）卒業証明書※2	
	（４）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙）	
	（５）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（６）所属長の受験許可証（本学所定の用紙）	所属長がない等の場合は、その旨を書いた文書で、これに代えることができます。
	（７）業績報告書（本学所定の用紙）	（その１）所属する企業等の概要や事業内容、従事した業務等を記入します。 （その２）論文や出版物等がある場合に記入します。

- ※１ 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。
- ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。
- ※２ 出願資格（２）により出願する場合は、①短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書、②学士の学位授与証明書、または学士の学位授与を申請する旨の証明書を提出します。出願資格（４）～（９）により出願する場合は、修了（見込）証明書等を提出します。

6 出願方法

出願は次の３つの手続を行うことで受理されます。

（１）受験ポータルサイト「UCARO」での出願登録、（２）出願書類の郵送、（３）入学試験検定料の支払い

必ず（１）～（３）のすべてを完了してください。

１）出願書類（市販の角型２号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

出願期間（締切日必着）に次の書類を入学センターに郵送します。

試験区分	出願書類	注意事項
一般 ※3	（１）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（２）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したもの。
	（３）卒業（見込）証明書※1	
	（４）TOEIC スコア（数学専攻を除く）	TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2022年４月１日以降の公式認定証（公開テスト）か、スコアレポート（IPテスト）の写し。
	（５）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	

試験区分	出 願 書 類	注 意 事 項
推 薦	(1) 入学志願票 (本学所定の用紙)	
	(2) 成績証明書	出身大学が作成したもの。
	(3) 卒業見込証明書	出身大学が作成したもの。 本学理工学部在籍している場合は不要です。
	(4) TOEIC スコア (数学専攻を除く)	TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2022年4月1日以降の公式認定証 (公開テスト) か、スコアレポート (IP テスト) の写し。
	(5) 推薦書 (本学所定の用紙)	本学理工学部在籍している場合は不要です。
	(6) 指導希望教員承諾書 (本学所定の用紙)	本学理工学部在籍、かつ研究室等の変更がない場合は不要です。
	(7) 志望理由書 (本学所定の用紙)	
	(8) 安全保障輸出管理に関する誓約書 (本学所定の用紙)	
外 国 人	(1) 入学志願票 (本学所定の用紙)	
	(2) 出願資格確認通知書	出願資格 (1) により出願する場合は不要です。 本学が送付したもの。
	(3) 私費外国人留学生 A 奨学生願書	
	(4) 授業料の一部納期延期願	
	(5) 入学試験調査票 (本学所定の用紙)、指導希望教員承諾書 (本学所定の用紙)、志望理由書 (本学所定の用紙)、保証人 (学費負担等) 届書 (本学所定の用紙)、安全保障輸出管理に関する誓約書 (本学所定の用紙)	出願資格 (1) により出願する場合。
	(6) 成績証明書、卒業 (見込) 証明書	出願資格 (1) により出願する場合。 (最終の) 出身大学等が作成したもの。日本語、英語以外のものは、日本語、または英語に訳したものを添付します。
	(7) TOEIC スコア (数学専攻を除く)	出願資格 (1) により出願する場合。TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2022年4月1日以降の公式認定証 (公開テスト) か、スコアレポート (IP テスト) の写し。
社 会 人	(1) 入学志願票 (本学所定の用紙)	
	(2) 出願資格確認通知書	本学が送付したもの。
	(3) TOEIC スコア (数学専攻を除く)	一般入学試験と同じ筆記試験 (専門科目、外国語) を課す場合。TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2022年4月1日以降の公式認定証 (公開テスト) か、スコアレポート (IP テスト) の写し。
	(4) 安全保障輸出管理に関する誓約書 (本学所定の用紙)	
	(5) 長期履修学生制度申請書 (本学所定の用紙)	希望者のみ

※1 出願資格 (2) により出願する場合は、①短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了 (見込) 証明書、②学士の学位授与証明書、または学士の学位授与を申請する旨の証明書を提出します。出願資格 (4) ~ (9) により出願する場合は、修了 (見込) 証明書等を提出します。

※2 TOEIC® Listening & Reading IP テスト (オンライン) のスコアは認めない。

※3 出願前に指導希望教員に必ず連絡すること。連絡先が分からない場合は、入学センターにお問い合わせください。

2) 書類提出に際しての注意

- 出願書類に不備がある場合は、受け付けません。
- 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- 受け付けた出願書類の返還はしません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、必ず簡易書留で郵送してください (締切日必着)。

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学入学センター

7 その他

学費については14~15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10~13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕
平 日 AM 8:50 ~ PM 5:20
※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

理工学研究科 博士(博士後期)課程

1 募集専攻・研究指導科目

研 究 科	専 攻	専 修 分 野 (研 究 指 導 科 目)
理 工 学 研 究 科	数 学 専 攻	代数学 (代数学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、幾何学 (幾何学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、関数解析学 (関数方程式特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、大域解析学 (大域解析学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、数理情報科学 (数理情報科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)
	電気・情報・材料・物質工学専攻	電気電子工学 (電気工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、電子システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、情報工学 (情報工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、材料機能工学 (エレクトロニクス材料工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、インテリジェント材料工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、物質・分子工学 (先端物質特殊研究Ⅰ～Ⅵ、分子素材特殊研究Ⅰ～Ⅵ)
	機械工学専攻	設計システム工学 (設計機能特殊研究Ⅰ～Ⅵ、ロボット工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、熱工学 (反応性ガス力学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、熱現象計測特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、流体工学 (粘性流体力学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、生産システム工学 (生産加工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、材料システム工学 (材料設計工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、破壊制御システム工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)
	社会環境デザイン工学専攻	構造デザイン工学 (構造システム学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、構造材料学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、空間構造デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、大気水環境デザイン学 (水域環境工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、地盤環境デザイン学 (地盤工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)、都市環境デザイン学 (地域計画学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、住環境デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ)

2 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点 (評価)
一般外国人※社会人	面接試験 (口頭試問含む) および書類審査 (面接: ABC 評価)。ただし、筆記試験 (専門・外国語) を課す場合があります。試験時間・選抜方法については下記の通り通知します。 ■選抜方法■ 一般・外国人 (日本の大学院を修了 (見込み) の者): 受験ポータルサイト「UCARO」にて通知 外国人・社会人: 出願資格確認通知書にて通知 ■試験時間■ 受験ポータルサイト「UCARO」にて通知

※受験のための出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。

3 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
一般外国人※社会人	天白キャンパス	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4

出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。(平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号) (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。(上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 上記①(1)～(4)は、大学院修士課程を修了後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において1年以上の業務経験があり、入学後も引き続きその身分を有し、所属長の許可を受けた者。 (2) 上記①(5)～(6)は、大学を卒業後、研究者・技術者として、研究機関または企業において2年以上の業務経験があり、入学後も引き続きその身分を有し、所属長の許可を受けた者。 (3) 本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）指導希望教員承諾書【様式3】 （7）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （8）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （9）研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において業務経験がある場合は、業績報告書（その1）を提出。 論文・出版物等過去に公表したものがあれば、業績報告書（その2）を提出。 （業務経験、論文、出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。） （10）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 【注意事項】 （1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへお問い合わせください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることにより郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）所属長の受験許可書（本学所定の用紙） （注）受験許可証が提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式任意）を提出してください。 （3）ア．大学院修了者 ①最終出身大学院修士課程の成績証明書 ②最終出身大学院修士課程の修了証明書 イ．大学卒業者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業証明書 （4）指導希望教員承諾書【様式3】 （5）業績報告書（その1）（本学所定の用紙）〔所属機関の概要（業種 事業内容）および従事する職務内容を記載してください〕 なお、論文・出版物等過去に公表したものがあれば、業績報告書（その2）に記載し、出願資格確認書類と併せて提出してください（論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。） （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）出願資格の□－（4）により出願しようとする者は、本人が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許広報／英語能力の証明書／各種資格／単位取得証明書／国際的活動や実務経験を証明する書類等）を提出してください。

6 出 願 方 法

1) 出願書類（市販の角型 2 号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
一 般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (5) 指導希望教員承諾書【様式 3】 (6) 修士課程の学位論文を提出した者は、修士論文の写しおよびその要旨を提出してください。 修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 (7) 研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において業務経験がある場合は、業績報告書（その 1）を提出。 論文・出版物等過去に公表したものがあ場合は、業績報告書（その 2）を提出。 （業務経験、論文、出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。） (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (9) その他、専攻が指定する書類
外 国 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士課程の学位論文を提出した者は、修士論文の写しおよびその要旨を提出してください。 修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (4) 私費外国人留学生 A 奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 (6) その他、専攻が指定する書類 ※入学後、2026年 6 月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年 1 月 1 日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。 [注意事項] ①出願予定者は、必ず事前に資格確認を行ってください。 ②やむを得ない事情により、成績証明書、修士課程修了（見込）証明書の写しを提出した者は、入学試験当日に原本の提示を求めますので、必ず原本を持参してください。 ③受験のための出国許可が得られない者については、本研究科の指導希望教員の推薦書（様式任意）が必要です。
社 会 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士課程の学位論文を提出した者は、修士論文の写しおよびその要旨を提出してください。 修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 (3) その他、専攻が指定する書類 (4) 長期履修学生制度申請書（本学所定の用紙／希望者のみ）

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 一 丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 早期修了制度

本学には、特に優れた研究業績をあげた者を対象とする早期修了制度があります。制度利用を希望する方は、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。

8 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

9 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕

平日 AM 8:50 ～ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

農学研究科

農学研究科は、生命科学、食料・健康科学、環境科学における高度な専門知識と洞察力を有し、専門領域や関連学術領域における総合的な応用力、創造力および実践力を備えた専門技術者および研究者の養成を目的とする。

農学研究科の教育目標

農学研究科（農学専攻）は、修士課程と博士後期課程を設置しています。

修士課程は、生命科学、食料・健康科学、環境科学における高度な専門知識と洞察力を有し、専門領域や関連学術領域における総合的な応用力、創造力および実践力を備えた専門技術者および研究者の養成を人材養成目的としています。そのため、高度な専門的学識をベースとしたコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、課題探求能力、技術力を持った人材を育てることを目標に教育を行います。具体的には、学生は栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学、フィールド生産科学の13の専修分野から1つを選択します。そして、2年間（標準修業年限）在学して、課題探求や問題解決のための方法や高度な技術、研究発表や論文作成等に関する指導を受け、修了に必要な単位を講義、実験、実習および演習で修得します。さらに、学位（修士）論文を提出して、その審査ならびに試験に合格した者には、修士（農学）の学位が授与されます。

博士後期課程は、修士課程等で培った高度な研究能力あるいは技術力を活かし、さらに自立して研究を展開できる能力を有する研究者の養成を目的とします。具体的には、学生は栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学の専修分野から1つを選択します。そして3年間（標準修業年限）在学して、指導教員による研究指導を受け、修了に必要な単位を修得し、学位（博士）論文を提出して論文審査と最終試験に合格した者には、博士（農学）の学位が授与されます。

修士課程授業科目

作物生産学特論	生物制御科学特別演習
園芸生産学特論	生物制御科学特別実験
園芸生理学特論	植物保全学特論
栽培植物生産学特別演習	動物保全学特論
栽培植物生産学特別実験	生物保全学特別演習
分子生物情報学特論	生物保全学特別実験
植物分子遺伝学特論	養分動態学特論
分子生物情報・育種学特別演習	土壌学特論
分子生物情報・育種学特別実験	環境汚染科学特論
昆虫学特論	物質動態学特別演習
植物病理学特論	物質動態学特別実験
生物保護学特別演習	地球環境修復学特論
生物保護学特別実験	植物環境応答学特論
生物生産経営学特論	生物機能科学特別演習
生物資源経済学特論	生物機能科学特別実験
経営・経済学特別演習	ランドスケープ・デザイン学特論
経営・経済学特別実験	景観解析学特論
分子微生物学特論	緑地創造学特別演習
生化学特論	緑地創造学特別実験
分子細胞生物学特論	動植物生産科学特論Ⅰ
生命科学特別演習	動植物生産科学特論Ⅱ
生命科学特別実験	フィールド生産科学特別演習
食品栄養科学特論Ⅰ	フィールド生産科学特別実験
食品栄養科学特論Ⅱ	科学倫理
食品製造科学特論	学術英語Ⅰ
食品機能学特論	学術英語Ⅱ
食品科学特別演習	大学院特別講義Ⅰ
食品科学特別実験	大学院特別講義Ⅱ
物理化学特論	大学院特別講義Ⅲ
有機化学特論	大学院特別講義Ⅳ
分析化学特論	特別プレゼンテーション
分子化学特別演習	特別研修Ⅰ
分子化学特別実験	特別研修Ⅱ
生物制御科学特論Ⅰ	特別研修Ⅲ
生物制御科学特論Ⅱ	アドバンスト・インターンシップ

博士後期課程科目

栽培植物生産学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	緑地創造学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
分子生物情報・育種学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	生物資源学特殊講義
生物保護学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	応用生物化学特殊講義
経営・経済学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	生物環境科学特殊講義
生命科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	生物資源学リテラシー
食品科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	応用生物化学リテラシー
分子化学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	生物環境科学リテラシー
生物制御科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	先端学術英語
生物保全学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	特別プレゼンテーション
物質動態学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	研究倫理
生物機能科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ	知的財産マネジメント

農学研究科 修士 課程

1 募集専攻・専修分野

研究科	専攻	専修分野
農学研究科	農学専攻	栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学、フィールド生産科学

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	9:00~10:30	10:45~12:45	13:45~	専門科目は、 〔別表2〕 の中から2科目を選択してください。 ただし2科目のうち少なくとも1科目は、志望する研究分野から選ばなければなりません。 ※外国語試験は英和辞書一冊のみ持込み可。ただし、電子辞書は持ち込み不可。
	外国語（英語） 〈100点〉	専門科目 〈200点〉	面接 〈ABC 評価〉	
外国人 外国人(秋季)	面接（日本語、英語および基礎学力に関する口頭試問）および書類審査により可否を判定します（面接：ABC 評価）。			
社 会 人	面接（基礎学力に関する口頭試問）および書類審査により可否を判定します（面接：ABC 評価）。 ※出願期間の1か月前までに指導予定教員に問い合わせてください。			

※外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（外国語、専門科目）を課す場合があります。

〔別表2〕 農学研究科における専修分野・研究分野別の専門科目

専修分野	研究分野	専門科目
栽培植物生産学	作物学	食用作物学、資源作物学
	園芸学	果樹園芸学、野菜園芸学、花き園芸学、青果保蔵学
分子生物情報・育種学	分子生物情報学	遺伝学、植物分子生物学
	分子遺伝学	植物細胞生物学、育種学
生物保護学	植物病理学	植物病理学、植物感染制御学
	昆虫学	応用昆虫学、基礎昆虫学
経営・経済学	生物資源経済学	生物生産経営学、生物資源経済学
生命科学	応用微生物学	微生物学、微生物利用学
	生物化学	生物化学、細胞生物学
食品科学	栄養・食品学	食品化学、栄養科学
	食品機能学	食品製造科学、食品機能学
分子化学	生物物理化学	物理化学、分析化学
	天然物有機化学	有機化学、天然物化学
生物制御科学	生物制御科学	農業科学、生物制御科学
生物保全学	植物保全学	植物保全生態学、環境ストレス生物学
	環境動物学	環境動物学、動物環境生理学
物質動態学	環境分析化学	環境分析化学、機器分析化学
	環境土壌学	土壌学、養分動態学
生物機能科学	植物機能科学	植物栄養学、植物生理学
	環境微生物学	環境微生物学、細胞分子生物学、微生物生態学
緑地創造学	景観解析学	ランドスケープ・デザイン学（造園学）、緑地環境学
フィールド生産科学	フィールド生産科学	フィールド生産科学、応用動植物科学

（注）専門科目の受験制限について

「植物細胞生物学」「細胞生物学」「細胞分子生物学」については、それらのうち1科目しか選択できない。
「分析化学」と「環境分析化学」はいずれか1科目しか選択できない。また、「分析化学」と「機器分析化学」もいずれか1科目しか選択できない。
「植物分子生物学」と「植物生理学」はいずれか1科目しか選択できない。

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
一般 外国人(秋季) 社会人	天白キャンパス	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格 ※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に必ず問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
一般	① (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末までに卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末までに修了見込みの者。 (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 (注) 上記(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人 外国人(秋季)	前頁 ① (1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記 ② の(1)に加えて、(2)・(3)のいずれかの条件を満たしている者。（前項(8)(9)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② (1) 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者。 (2) 日本語能力試験（JLPT）N2以上に合格し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (3) 本研究科において(2)と同等以上の日本語能力があると認めた者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 なお、秋季入学は、前項 ① (1)については、2025年9月13日までに卒業または卒業見込の者、前項 ① (2)については、2025年9月13日までに取得または取得見込の者、前項 ① (3)～(6)については、2025年9月13日までに修了または修了見込の者とする。 ※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に問い合わせてください。
社会人	前頁 ① (1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに ③ の(1)・(2)のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 学士の学位に相当する学位取得後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において1年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (2) 本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。 ※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に問い合わせてください。

5 出願資格の確認手続（提出書類）

試験区分	提出書類
外国人 外国人(秋季) または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業（見込）証明書 (4) 指導予定教員承諾書（本学所定の用紙） (5) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 (6) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (7) 日本語能力試験（JLPT）N2以上の合否結果通知書または認定書のコピー（写し）。 ※ただし、出願資格②-（3）により出願を希望する者は不要 (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (3) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学等の成績証明書 (3) 最終出身大学等の卒業証明書 ※出願資格①-（2）により、出願する場合は、短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了証明書、または学士の学位授与証明書 (4) 指導予定教員承諾書（本学所定の用紙） (5) 志望理由書（本学所定の用紙） (6) 職場等責任者の就学承諾書（様式任意） （注）個人事業主や定年退職者等については、本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 (7) 業績報告書（様式任意 資料コピー添付） 記載事項1：所属企業等の概要や事業内容、従事した業務等 記載事項2：学会発表、学術論文、出版物、特許公報、取得資格等 （該当する業績がない場合は記載の必要はありません） （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
一 般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 指導予定教員承諾書（本学所定の用紙） 〔他大学出身者のみ〕 (3) ア. 大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書、 ③出願理由書（本学所定の用紙）を提出してください。 イ. 短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 (4) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外 国 人 外国人（秋季）	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (3) 私費外国人留学生A奨学生願書 (4) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社 会 人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 (1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (3) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（**締切日必着**）。

〔外国人のみ入学センター窓口持参可〕

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 そ の 他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター／国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM8:50～PM5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

農学研究科 博士後期課程

1 募集専攻・専修分野

研究科	専攻	専修分野
農学研究科	農学専攻	栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学

※各科目はⅠ～Ⅵから成る。

2 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考
一 般	9:00～10:00	10:30～12:00	13:15～	専門科目の試験は、専攻する専修分野および修士論文の内容を中心として行います。 ※外国語試験は、外国語辞書の持込み不可。
	外国語（英語） 〈100点〉	専門科目 〈100点〉	面接 〈ABC 評価〉	
外国人 外国人(秋季)	修士論文の内容を中心に専門学術について試問し、学習および研究に必要な日本語と英語に習熟しているかどうかを試験します（ABC 評価）。 ただし、農学研究科博士後期課程部会の承認を得た者については、出願書類によって判定します。			
社会人	面接（専門学術および英語に関する口頭試問）および書類審査により可否を判定します（面接：ABC 評価）。 ただし、農学研究科博士後期課程部会の承認を得た者については、出願書類によって判定します。 ※出願期間の1か月前までに指導予定教員に問い合わせてください。			

※外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（外国語、専門科目）を課す場合があります。

3 試験場

試験区分	試験場	所在地
一 般 外国人 外国人(秋季) 社会人	天白キャンパス	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4 出願資格 ※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に必ず問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
一 般	① (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末までに取得見込みの者。 (5) 文部科学大臣の指定した者。(平成元論文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号) (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 (注) 上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人 外国人(秋季)	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。(上記(6)にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格(留学)を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 なお、秋季入学は、上記①(1)～(4)については、2025年9月13日までに取得または取得見込みの者とする。
社 会 人	上記①(1)～(6)のいずれかの条件を満たし、さらに③の(1)～(3)のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 上記①(1)～(4)に該当する場合、修士または専門職学位に相当する学位取得後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において1年以上(入学時現在)の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (2) 上記①(5)～(6)に該当する場合、学士の学位に相当する学位取得後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において3年以上(入学時現在)の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (3) 本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続(提出書類)

試験区分	提 出 書 類
外 国 人 外国人(秋季) または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 指導予定教員承諾書(本学所定の様式) (7) 住民票(出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー(写し)を取ることでこれに代えることができます。 (8) 保証人(学費負担者等)届書(本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人(学費負担者等)とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (9) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例: 成績証明書に記載されている科目一覧(語学・体育科目を除く)のシラバス原文および日本語訳等) 追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社 会 人	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「入学センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 成績証明書 ア. 大学院修了者最終出身大学院修士課程等の成績証明書 イ. 大学卒業者最終出身大学等の成績証明書

試験区分	提出書類
社会人	(3) 修了(卒業)証明書 ア. 大学院修了者最終出身大学院修士課程等の修了証明書 イ. 大学卒業者最終出身大学等の卒業証明書 (4) 指導予定教員承諾書(本学所定の用紙) (5) 志望理由書(本学所定の用紙) (6) 職場等責任者の就学承諾書(様式任意) (注) 個人事業主や定年退職者等については、本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 (7) 業績報告書(様式任意資料コピー添付) 記載事項1: 所属企業等の概要や事業内容、従事した業務等 記載事項2: 学会発表、学術論文、出版物、特許公報、取得資格等 (該当する業績がない場合は記載の必要はありません) (注) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類(1)～(9)」を、併せて提出してください。

6 出願方法

1) 出願書類(市販の角型2号封筒(240×332mm)に出願用の宛名ラベルを貼ること)

試験区分	出願書類
一般	(1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了(見込)証明書 (6) 修士論文の写しおよびその要旨(原稿用紙400字詰2枚) (7) 出願理由書(本学所定用紙) (8) 指導予定教員承諾書(本学所定の様式)【他大学出身者のみ】 (9) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙)
外国人 外国人(秋季)	(1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 修士論文の要旨(日本語800字程度、英語の場合は1500語程度) (3) 修士の学位を有していない者は、研究経過報告書(日本語800字程度、英語の場合は1500語程度)および研究報告書等の資料を添付(この場合は、出願前に窓口に問い合わせること)。 (4) 出願資格確認通知書(出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。) (5) 私費外国人留学生A奨学生願書 (6) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書(本人分)を提出してください。(2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。)15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社会人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 (1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 出願資格確認通知書(出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。) (3) 修士論文の写しおよびその要旨。修士論文がない場合は、研究経過報告書(様式任意1000字程度) (4) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (5) その他、本研究科が指定する書類

2) 書類提出に際しての注意

- 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください(締切日必着)。

(外国人のみ入学センター窓口持参可)

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 (提出先) 名城大学入学センター

7 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学 入学センター／国際化推進センター
TEL (052) 832-1151 (代)

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ～ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

薬学研究科

薬学研究科薬学専攻博士課程（4年制課程）は、薬学領域における学術高度化に貢献でき、国民の健康維持・増進と医療の発展をより一層推進できる独創的で創造的な高い研究力、新しい職能を開拓できる高度な専門性と技術・指導力を兼ね備えた“**薬学のスペシャリストの養成**”を人材養成目的とし、高度な専門性や優れた研究能力を有する薬剤師・研究者を養成するために、日々進歩を続ける医療・生命科学に関わる情報解析力、柔軟な発想と時代の先端を切り開く行動力を養い、医薬品をはじめ食品・化学物質全般の「適正使用」、さらに医薬品の適応拡大を含めた「育薬」について探究・推進し、臨床的な課題に重点をおいて教育研究を推進します。

4年間の教育研究を通して、最新の医療・生命科学に関わる情報を理解・修得できる能力、薬剤師の職能の現状にとらわれず柔軟な発想と時代の先を見通す洞察力や、自らが時代を切り拓くことができる行動力を身につけた医療人を養成することになります。

◎各専修分野の学問領域

専修分野	学問領域
環境衛生科学分野	衛生化学、食品化学、天然物化学、微生物学、分析化学など
医療情報科学分野	医薬品情報学、医療経済学、臨床薬理学、医療倫理学など
病態解析科学分野	生理学、解剖学、生化学、分子生物学、計算化学など
薬物治療科学分野	薬理学、薬物治療学、生薬学、漢方医学、薬品作用学など
薬物動態科学分野	物理化学、製剤学、薬物動態学、薬剤学、有機合成化学など

◎薬学研究科薬学専攻博士課程の授業科目

専修分野	開講授業科目
環境衛生科学分野	環境衛生科学特論、環境衛生科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
医療情報科学分野	医療情報科学特論、医療情報科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
病態解析科学分野	病態解析科学特論、病態解析科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
薬物治療科学分野	薬物治療科学特論、薬物治療科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
薬物動態科学分野	薬物動態科学特論、薬物動態科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
関連科目	医療英語特論、臨床薬学研修、海外臨床研修 臨床腫瘍学特論、がん薬物療法学特論、緩和医療学特論、基礎薬学特論

◎薬学研究科薬学専攻博士課程ホームページ

(https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_pharmacy/)

薬学研究科 博士 課程

1 修 業 年 限

4 年

2 専 修 分 野

専 修 分 野

環境衛生科学分野、医療情報科学分野、病態解析科学分野、薬物治療科学分野、薬物動態科学分野

3 選 抜 方 法

試験区分	試験科目	備 考
推 薦	専門科目試験（口述試験）	専門科目試験は、これまでの研究成果、研究・学習計画を中心とした口述試験を実施します。
一 般	専門科目試験（口述試験）および外国語（英語）の試験	専門科目試験は、これまでの研究成果、研究・学習計画を中心とした口述試験および外国語（英語）の試験を実施します。
外 国 人	専門科目試験としてこれまでの研究成果、研究・学習計画を中心とした試験および外国語 2 か国語（英語と日本語）の試験を実施します。なお、日本語試験は、口述試験として実施します。 ※外国語試験は、辞書の持込不可とします。	
社 会 人	専門科目試験としてこれまでの研究成果、研究・学習計画を含む研究事項、職務および社会活動等を中心とした口述試験および外国語（英語）の試験を実施します。	

※一般・社会人区分について、外国語試験は辞書の持込可とします。ただし、医学・薬学等に特化した辞書は持込不可とします。

4 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
推 薦 一 般 外 国 人 社 会 人	八事キャンパス	名古屋市天白区八事山 1 5 0 番地

5 出願資格 ※受験希望者は、事前に専修分野の指導予定教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
推 薦	(1) 本学薬学部在学する6年次学生で、5年次までの成績が原則として学年の上位3分の1以内の席次で、高い研究意欲を持ち、指導教員の推薦が得られる者。 (2) 他大学6年制薬学部在学している6年次学生で、優れた研究成果を上げ、所属する大学の指導教員または学部長の推薦が得られる者。
一 般	① (1) 大学の修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者、または2026年3月末日までに卒業見込みの者。 (2) 修士の課程を修了した者、または2026年3月末日までに修了見込みの者。 (3) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了した者、または2026年3月末日までに修了見込みの者。 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了した者、または2026年3月末日までに修了見込みの者。 (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了した者に限る。）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末日までに修了見込みの者。 (6) 大学（修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において16年の課程を修了した後、大学、公的研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 (7) 大学（修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程）を4年以上在学し、または外国において学校教育における16年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。 (8) 文部科学大臣の指定した者。 (9) 24歳に達した者で、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学（修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 (注) 上記(9)にて出願を希望する者は、事前に「個別審査」を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせの上、必要書類を提出してください。
外 国 人	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記②の条件を満たしている者。(上記(9)にて出願を希望する者は、事前に「個別審査」を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。) ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人	上記①(1)～(9)のいずれかの条件を満たし、さらに下記③のいずれかの条件を満たしている者。 ③ (1) 上記①(1)～(4)で、6年制大学を卒業または大学院修士課程を修了して1年以上（2026年4月1日現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (2) 上記①(6)で、4年制大学の薬学部を卒業して3年以上（2026年4月1日現在）の実務経験（薬剤師・私企業の研究職）を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 (3) 本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。 (注) 上記(2)(3)にて出願を希望する者は、事前に「個別審査」を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせの上、必要書類を提出してください。

6 出願資格の確認手続

試験区分	出 願 資 格 条 件
外 国 人 または 海 外 の 大 学 出 身 者	出願予定の方は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可） (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業証明書 (4) 最終出身大学大学院修士課程の成績証明書 (5) 最終出身大学大学院修士課程の修了（見込）証明書 (6) 住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 (7) 保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (9) 受入れ承諾書（本学所定の用紙）[様式1] (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付していません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。

試験区分	提出書類
社 会 人	出願予定の方は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることに郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 (1) 入学試験調査票（本学所定の用紙） (2) 志願理由書（本学所定の用紙） (3) 受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（http://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_pharmacy/educator.html）で検索し、研究指導を希望する教員と連絡を取り、研究を志望する件について直接面談を受け、研究指導予定教員の承諾を得てください。 (4) 職場責任者の就学承諾書（様式任意） （注）本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターでご相談ください。 (5) ア.大学院修了者 ①最終出身大学院の修了証明書および成績証明書 イ.大学卒業生 ①最終出身大学の卒業証明書および成績証明書 ウ.短大および専修学校等卒業生 ①それぞれの最終出身学校の卒業証明書および成績証明書 (6) その他、本研究科が指定する書類 （注）前ページの⑦出願資格[1]～（4）により出願しようとする者は、本人が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許広報／英語能力の証明書／各種資格／単位修得証明書／国際的活動経験や実務経験を証明する書類等）を提出してください。 （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（9）」を、併せて提出してください。

7 出 願 方 法

1）出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
推 薦	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 出身大学の成績証明書 (3) 出身大学の卒業見込証明書 (4) 推薦書（様式任意）【所属する大学の学部長または指導教員の推薦書】 (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一 般	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 (3) 最終出身大学の成績証明書 (4) 最終出身大学の卒業（見込）証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (6) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (7) （修士課程修了（見込）者） 修士論文の写しおよびその要旨（様式任意。1000字程度）。なお、修士課程修了見込者で提出が困難な場合は、研究経過報告書（様式任意。3000字程度）。 （6年制課程卒業（見込）者） 卒業論文とその要旨（様式任意。1000字程度）。なお、提出が困難な場合は、研究経過報告書（様式任意。3000字程度）。 (8) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外 国 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 修士論文の写しおよびその要旨（様式任意。英文500words程度）。なお、修士課程修了見込者で提出が困難な場合は、研究経過報告書（様式任意。英文1000words程度）。 (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。）「日本の大学院を修了（見込）の者は不要です。」 (4) 私費外国人留学生A奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社 会 人	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙） （注）所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。 用紙が不足する場合、各自で所定用紙に倣い、記入項目漏れのないよう作成してください。 (3) 業績報告書（その2）（本学所定の用紙） （注）論文、出版物など過去に公表したものがあれば記載し、その証明となるものを提出してください。 用紙が不足する場合、各自で所定用紙に倣い、記入項目漏れのないよう作成してください。 (4) その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③を添付してください。 ①修士論文の写しおよびその要旨（修士課程修了者）（6年制課程卒業生については、卒業論文とその要旨（概要）） ②研究経過現況書 （【様式D－1】に準じて作成） ③研究業績調査書 [上記以外に研究発表等に関する事項があれば記載し、その証明となるものを添付してください] （【様式D－2】に準じて作成） (5) 出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2) 書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください。(締切日必着)

(外国人のみ入学センター窓口持参可)

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
名城大学入学センター

8 その他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項(10～13ページ)を参照してください。

9 問合わせ先

〒468-8503 名古屋市天白区八事山150番地
名城大学 薬学部教務係
TEL (052) 839-2610 (ダイヤルイン)

〔事務取扱時間〕

平日 AM 8:50 ~ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

※全ての受験希望の方は、出願期間前に下記のホームページ

(https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_pharmacy/educator.html) から検索し、研究指導を希望する教員と連絡をとり、研究を志望する件について直接面談を受け、研究指導予定教員の承諾を得ておいてください。

総合学術研究科

総合学術研究科は、自然と人間、環境問題と科学技術のあり方に関する学際的研究を通じて、高度専門職業人と優れた研究者の養成を目的とする。

◆博士前期課程授業科目

《基幹授業科目》

総合コアコース

総合学術特論 I 総合学術特論 II

物質・環境科学専修コース

物質情報学特論 分子設計化学特論
環境調和型化学反応論特論 環境システム論特論
生態機能科学特論 物質・環境科学特別研究

生物・環境科学専修コース

海洋資源構造学特論 生物情報学特論
資源生物機能学特論 生物集団システム論特論
生物・環境科学特別研究

心理学専修コース

社会科学特論 人間学特論
人格発達心理学特論 健康心理学特論
人間行動学特論 社会心理学特論
老年心理学特論 カウンセリング論特論
心理学特別研究

生命科学専修コース

薬効解析学特論 健康行動学特論
身体運動科学特論 生体機能制御学特論
遺伝子情報解析学特論 長寿科学特論
生命科学特別研究

《関連授業科目》

多文化共生論特論 文化社会学特論

◆博士後期課程研究指導科目

物質・環境科学特殊研究 人間・社会科学特殊研究
生物・環境科学特殊研究 生命科学特殊研究

◆授与される学位

所定の期間在学し、学位論文の審査および試験に合格した者には、次の学位が授与されます。

・博士前期課程 修士（学術）
・博士後期課程 博士（学術）

総合学術研究科 博士前期課程

1 募集専攻・専修分野等

研 究 科	専 攻	専 修 分 野	コ ー ス	科 目
総合学術研究科	総合学術専攻	自然・環境科学	物質・環境科学	環境システム論、生態機能科学
			生物・環境科学	海洋資源構造学、生物情報学
		人間科学	心 理 学	人格発達心理学、社会心理学、老年心理学
			生 命 科 学	健康行動学、身体運動科学、生体機能制御学、遺伝子情報解析学

※入学志願票には、コース、科目名を記入してください。

2 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）	
他大学出身者推薦	口述試験（出願書類に基づき諮問します）、面接および書類審査 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉	
一般（秋季）	外国語試験	口述試験および面接
	外国語（英語）：60分間 （辞書の持込不可） 〈100点〉	学修成果レポートに基づく口述試験並びに面接 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉
外国人（秋季）	◆面接および書類審査により可否を判定（面接：90点、書類審査：3段階評価） ◆面接は日本語または英語により基礎学力に関して試問 ただし、受験のため出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。	
社会人（秋季）	口述試験（志願理由書等に基づき諮問します）、面接および書類審査 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉	

3 試 験 場

試験区分	試 験 場	所 在 地
他大学出身者推薦 一般 外国人 社会人 （秋季を含む）	天白キャンパス	名古屋市天白区塩釜ロー一丁目501番地

4 出願資格

試験区分	出 願 資 格 条 件
他大学出身者 推薦	学業および人物ともに優れ、2026年3月に他大学を卒業見込みの者で、出願期間以前に所属する専門ゼミ指導教員または学部長から推薦が得られる者。
一般 一般（秋季）	①（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） （8）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人 外国人（秋季）	出願資格 ①（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに ② の条件を満たしている者。（出願資格 ①（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 ※受験希望者は、事前に専修分野の指導教員に問い合わせてください。
社会人 社会人（秋季）	出願資格 ①（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに ③ のいずれかの条件を満たしている者。 ③（1）出願資格 ①（1）～（6）は、大学を卒業（あるいは学位の授与）、または大学院を修了（あるいは学位の授与）して1年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）出願資格 ①（5）（6）は、短期大学および専修学校等を卒業して3年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 外国人(秋季) または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います(窓口受付可)。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学の卒業(見込)証明書 (4) 住民票(出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。) (注) 窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー(写し)を取ることでこれに代えることができます。 (5) 保証人(学費負担者等)届書(本学所定の用紙) (注) 親族以外を保証人(学費負担者等)とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙) (注) (1) 日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 (2) 大学院修士課程修了(見込)者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了(見込)証明書を提出してください。 (3) 上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例:成績証明書に記載されている科目一覧(語学・体育科目を除く)のシラバス原文および日本語訳等)追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がございましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人 社会人(秋季)	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることに郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 (1) 入学試験調査票(本学所定の用紙) (2) 志願理由書(本学所定の用紙) (3) 受入れ承諾書(本学所定の用紙)【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP(https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/)を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (4) 職場責任者の就学承諾書(様式任意) (注) 主婦や定年退職者等については、本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 (5) 最終出身大学の成績証明書 (注) 短期大学の専攻科、または高等専門学校専攻科の修了者で、「大学評価・学位授与機構」の学位(学士)取得者は、短期大学の専攻科、または高等専門学校専攻科の成績証明書を提出してください。大学院修士課程修了者は、修士課程成績証明書、修士課程修了証明書を別に提出してください。 (6) 最終出身大学の卒業証明書 (注) 短期大学の専攻科、または高等専門学校専攻科の修了者で、「大学評価・学位授与機構」の学位(学士)取得者は、短期大学の専攻科、または高等専門学校専攻科の修了証明書および学位取得証明書を提出してください。 (7) その他、本研究科が指定する書類 (注) 出願資格Ⅱ(6)により出願しようとする者は、出願資格Ⅱ(6)で定める最終出身学校の卒業証明書・成績証明書および本人が大学を卒業した者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類(例えば、研究論文/特許公報/英語能力の証明書/各種資格・単位取得証明書/国際的活動経験や実務経験を証明する書類等)を提出してください。 (注) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類(1)～(6)」を、併せて提出してください。

6 出願方法

1) 出願書類(市販の角型2号封筒(240×332mm))に出願用の宛名ラベルを貼ること

試験区分	出願書類
他大学出身者 推薦	(1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 志願理由書(本学所定の用紙) (3) 受入れ承諾書(本学所定の用紙)【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP(https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/)を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (4) 推薦書(任意) (5) 成績証明書 (6) 卒業見込証明書 (7) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙)

試験区分	出 願 書 類
一般 一般（秋季）	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) ア. 大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ. 短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 (注) 大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 (3) 受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（ https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ ）を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (4) 学修成果レポート【様式2】に基づき作成 (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外国人 外国人（秋季）	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の推薦書（任意） (3) 受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（ https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ ）を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (4) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (5) 私費外国人留学生A奨学生願書 (6) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。
社会人 社会人（秋季）	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 (1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 業績報告書（その1）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください] (3) 出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） (4) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

2）書類提出に際しての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- (3) 出願書類は一切返還しません。

3）出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください（締切日必着）。

（外国人のみ入学センター窓口持参可）

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 （提出先） 名城大学入学センター

7 そ の 他

学費については14～15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項（10～13ページ）を参照してください。

8 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター／国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151（代）

〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ～ PM 5:20
 ※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
 ※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

総合学術研究科 博士後期課程

1 募集専攻・専修分野等

研究科	専攻	専修分野	科目
総合学術研究科	総合学術専攻	自然・環境科学	物質・環境科学特殊研究
			生物・環境科学特殊研究
		人間科学	人間・社会科学特殊研究
			生命科学特殊研究

※入学志願票には、志望専修分野と科目を記入してください。

2 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）	
他大学大学院 出身者推薦	修士論文等の口頭発表およびそれに基づく口述試験並びに面接、書類審査 ・口頭発表：15分間 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉	
一般 一般（秋季）	外国語試験	口頭発表・口述試験等
	外国語（英語）：60分間 外国語試験は、辞書の持込不可 〈100点〉	修士論文等の口頭発表及びそれに基づく口述試験並びに面接 ・口頭発表：15分間 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉
外国人 外国人（秋季）	◆面接および書類審査により可否を判定〈面接：90点、書類審査：3段階評価〉 ◆面接では日本語または英語により基礎学力を試問。 ただし、受験のため出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。	
社会人 社会人（秋季）	修士論文等の口頭発表およびそれに基づく口述試験並びに面接、書類審査 ・口頭発表：15分間 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉	

3 試 験 場

試験区分	試験場	所在地
他大学大学院 出身者推薦 一般 外国人 社会人 (秋季を含む)	天白キャンパス	名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

4

出願資格
※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
他大学大学院 出身者推薦	学業および人物ともに優れ、2026年3月に他大学大学院を修了見込みの者で、出願期間以前に在籍する大学院の研究科長の推薦が得られる者。 ※研究科長名で推薦が得られない場合（研究科長職がない等）は必ず事前に入学センターに相談してください。
一 般 一般（秋季）	①（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月末（秋季入学は2025年9月13日）までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達する者。 （注）出願資格①（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外 国 人 外国人（秋季）	出願資格 ①（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに ② の条件を満たしている者。（出願資格 ①（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） ② 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社 会 人 社会人（秋季）	出願資格 ①（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに ③ のいずれかの条件を満たしている者。 ③（1）出願資格 ①（1）～（4）は、大学院修士課程を修了して1年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）出願資格 ①（6）は、大学を卒業して3年以上、短大および専修学校等を卒業して5年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

5 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人 外国人(秋季) または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることへ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人 社会人(秋季)	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332mm））に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ることに郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/）を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 （4）職場責任者の就学承諾書（様式任意） （注）本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 （5）1）大学院修了者 ① 最終出身大学院の修了証明書および成績証明書 ② 最終出身大学の成績証明書 2）大学卒業者 ① 最終出身大学の卒業証明書および成績証明書 3）短大および専修学校等卒業者 ① それぞれの最終出身学校の卒業証明書および成績証明書 （6）その他、本研究科が指定する書類 （注）（1）出願資格 Ⅰ-（6）により出願しようとする者は、本人が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許公報／英語能力の証明書／各種資格・単位取得証明書／国際的活動経験や実務経験を証明する書類等）を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。

6 出願方法

1) 出願書類（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出 願 書 類
他大学大学院 出身者推薦	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 志願理由書（本学所定の用紙） (3) 受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（ https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ ）を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (4) 推薦書（任意） (5) 最終出身大学の成績証明書 (6) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (7) 最終出身大学の卒業証明書 (8) 最終出身大学院修士課程の修了見込証明書 (9) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (10) その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③を添付してください。 ①修士論文の要旨〔要旨は和文および英文にて作成〕 (【様式3】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度) ②研究経過現況書〔和文および英文にて作成〕 (【様式4】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度) ③研究業績調査書〔上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください〕（【様式5】に準じて作成）
一般 一般（秋季）	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) 最終出身大学の成績証明書 (3) 最終出身大学院修士課程の成績証明書 (4) 最終出身大学の卒業証明書 (5) 最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 (6) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (7) その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③～④を添付してください。 ①修士論文の写しおよびその要旨〔要旨は和文および英文にて作成〕 (【様式3】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度) ②研究経過現況書〔和文および英文にて作成〕 (【様式4】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度) ③研究業績調査書〔上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください〕（【様式5】に準じて作成） ④受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（ https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ ）を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。
外国人 外国人（秋季）	(1) 入学志願票（本学所定の用紙） (2) その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③～④を添付してください。 ①修士論文の要旨〔【様式3】に準じて作成／和文の場合は800字程度、英文の場合は1000語程度〕 ②研究経過現況書〔【様式4】に準じて作成／和文の場合は800字程度、英文の場合は1000語程度〕 ③研究業績調査書〔上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください〕（【様式5】に準じて作成） ④受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHP（ https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ ）を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 (3) 出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） (4) 私費外国人留学生A奨学生願書 (5) 授業料の一部納期延期願 ※入学後、2026年6月に2025年の所得証明書（本人分）を提出してください。（2026年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）15ページの『外国人留学生の学費について』を参照してください。

試験区分	出 願 書 類
社 会 人 社会人(秋季)	(1) 入学志願票(本学所定の用紙) (2) 業績報告書(その1)(本学所定の用紙) (注) 所属機関の概要(業種・事業内容)および従事する職務内容を記載してください。 (3) その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③を添付してください。 ① 修士論文の写しおよびその要旨[要旨は和文および英文にて作成] (【様式3】に準じて作成/和文は3,000字程度、英文は300語程度) ② 研究経過現況書[和文および英文にて作成] (【様式4】に準じて作成/和文は3,000字程度、英文は300語程度) ③ 研究業績調書[上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください](【様式5】に準じて作成) (4) 出願資格確認通知書(本学から送付した確認通知書) (5) 安全保障輸出管理に関する誓約書(本学所定の用紙)

2) 書類提出に際しての注意

- 出願書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、必ず書類を確認してから出願してください。
- 出願書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。
- 出願書類は一切返還しません。

3) 出願書類送付先

出願書類は、簡易書留で郵送してください(締切日必着)。

(外国人のみ入学センター窓口持参可)

送付先 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 (提出先) 名城大学入学センター

7) そ の 他

学費については14~15ページ、入学検定料・受験票・合格発表・入学手続については、共通事項(10~13ページ)を参照してください。

8) 問い合わせ先

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
 名城大学 入学センター/国際化推進センター
 TEL (052) 832-1151 (代)

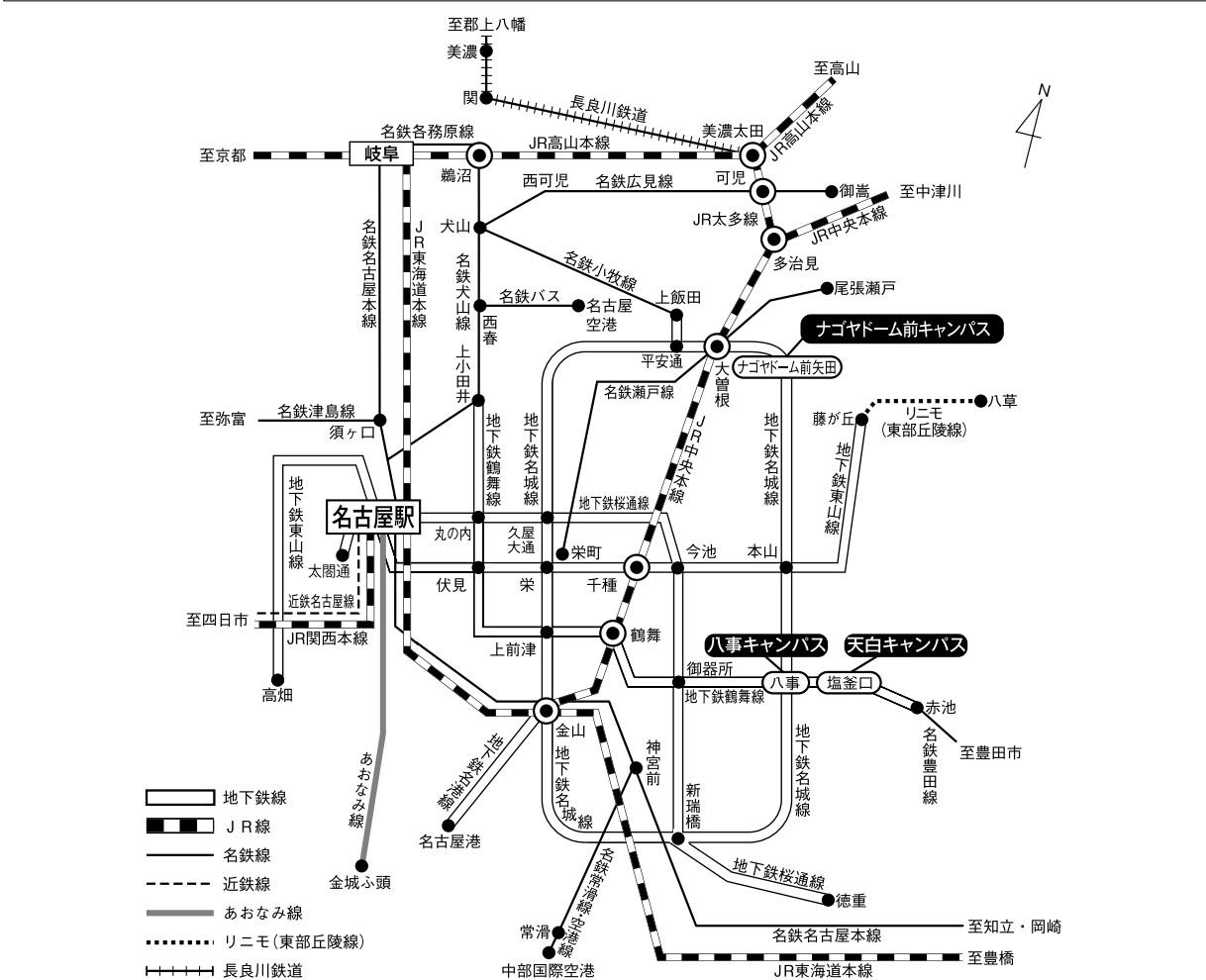
〔事務取扱時間〕

平 日 AM 8:50 ~ PM 5:20

※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。

※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

大学所在地略図



天白キャンパス (大学本部、法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、5月当初以降にお知らせします。理工学研究科、農学研究科、総合学術研究科)

■天白キャンパス交通案内

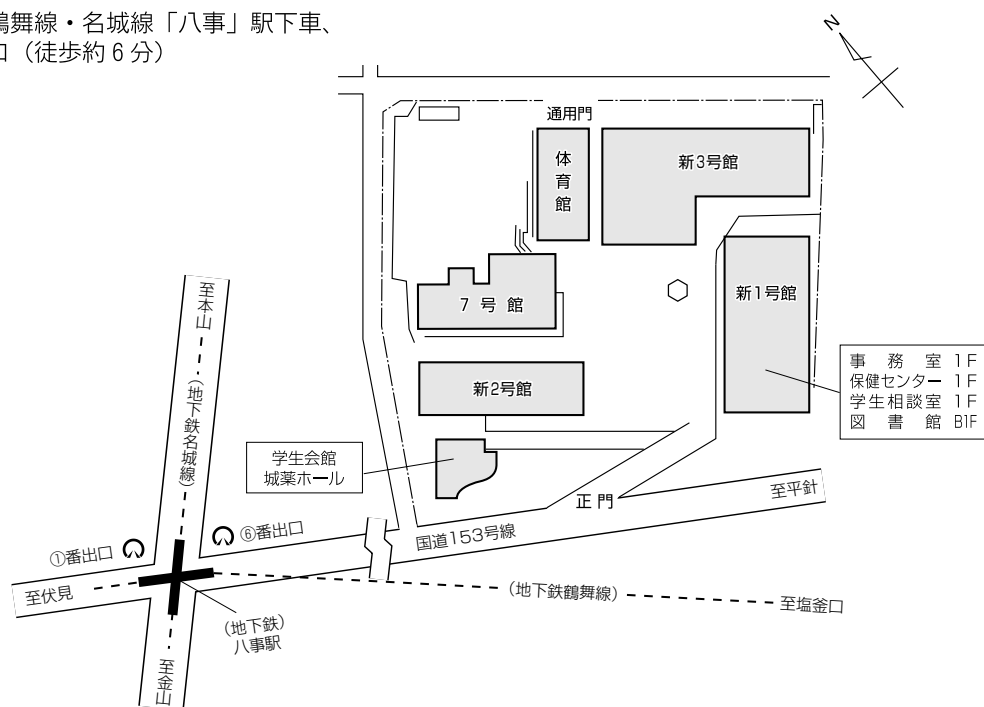
地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車、
①番出口（徒歩約4分）



八事キャンパス（薬学研究科）

■八事キャンパス交通案内

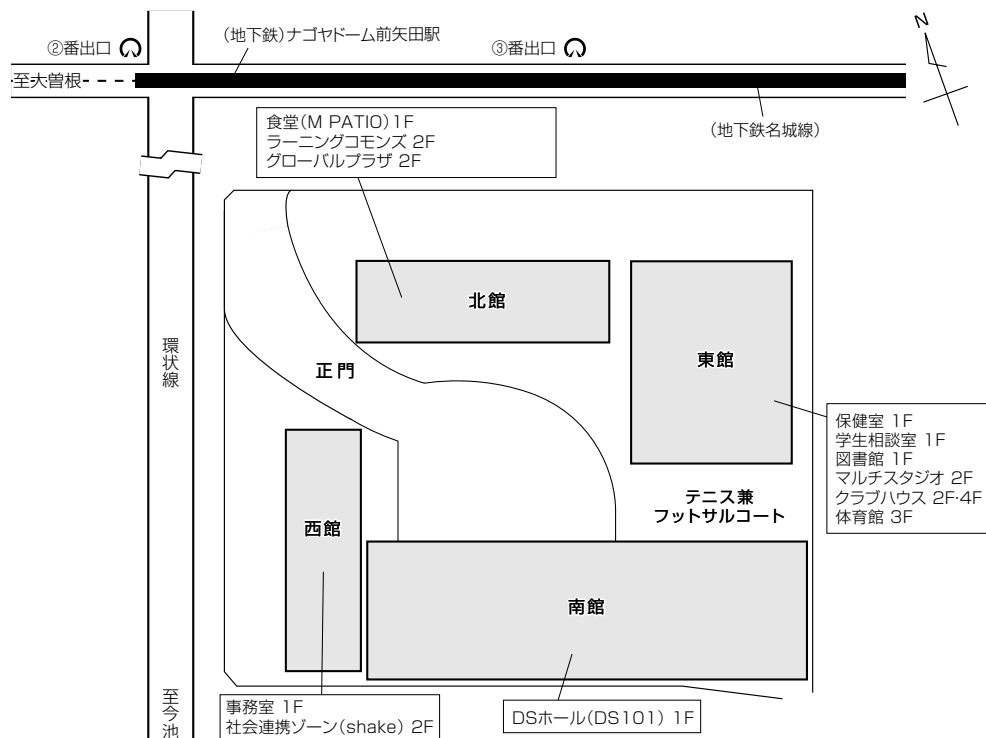
地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅下車、
⑥番出口（徒歩約6分）



ナゴヤドーム前キャンパス（人間学研究科、都市情報学研究科）

■ナゴヤドーム前キャンパス交通案内

JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車徒歩10分
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車徒歩3分
ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅下車徒歩5分



■問い合わせ先

名城大学入学センター

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜ロー一丁目501番地
TEL 052-838-2018 (ダイヤルイン) (受付時間：平日 9:00～17:00)
E-mail: nyugaku@ccml.meijo-u.ac.jp